

紙製容器包装リサイクル推進協議会の概要

1. 設立の目的

当推進協議会は容器包装リサイクル法の趣旨に基づき、紙製容器包装の3R推進と合理的でコストミニマムなシステム構築によって、我が国における生活環境の保全、国民経済の健全な発展に寄与することを目的として、関連する業界団体及び事業者が並立した形で、1998年2月5日に設立された団体です。

2. 事業内容

当推進協議会は目的達成のために、次の事業を行っています。

- 1) 紙製容器包装廃棄物の資源化促進のための実態調査
- 2) 事業者が取り組んでいる環境配慮製品の情報収集・提供
- 3) 国・自治体・消費者及び関係機関との連携・啓発
- 4) 容器包装リサイクル法の円滑な運用と、必要な制度整備への提言
- 5) 当推進協議会会員への情報提供・啓発

3. 会員構成

当推進協議会は、以下の会員によって構成されています。(2023年5月末 現在)

- ・正会員(15団体) 紙製容器包装に関係する団体
- ・正会員(41企業) 紙製容器包装に関係する事業者
- ・特別会員 当推進協議会が特に協力を要請する正会員以外の団体

4. 役員

会 長 野口 晴彦 凸版印刷 株式会社 専務執行役員/容リ協委員長
副 会 長 国近 文子 森永製菓 株式会社 執行役員 生産本部調達部部长
副 会 長 山田 晴久 日本製菓団体連合会 統括調整役
副 会 長 原田 隆行 日本製紙連合会 常務理事/容リ協理事
専務理事 川村 節也 森永製菓 株式会社 (全日本菓子協会) 事務局長/容リ協理事

◎ お問い合わせ先

紙製容器包装リサイクル推進協議会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館8F

TEL: 03-3501-6191、FAX: 03-3501-0203

URL: <http://www.kami-suisinkyo.org/>、e-mail: p@kami-suisinkyo.org



I	はじめに	1
II	報告書概要	2
III	容り法改正対策委員会	3
1	紙製容器包装の「容器包装リサイクル制度の見直しに向けた」提言	3
2	自主行動計画	3
2-1	自主行動計画2025（2021年度～2025年度； 第四次自主行動計画）目標	4
2-2	自主行動計画2025（初年度；2021年度）結果	5
3	CLOMA（クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス）参画	6
IV	リデュースの取り組み調査	7
1	事業者のリデュースの取り組み内容	7
2	紙製容器包装の削減率推移	9
V	リサイクル実態把握のための調査	10
1	紙製容器包装分別収集の実態調査（回収率調査）	10
1-1	紙製容器包装の総排出量調査（モニター調査）	11
1-2	組成分析調査（市町村独自ルート）	16
1-3	組成分析調査（指定法人ルート）	22
1-4	紙製容器包装の回収量アンケート調査	27
1-5	回収率算定	36

2	公的機関発表の分別収集実態	37
2-1	紙製容器包装の分別収集実態の推移	37
2-2	指定法人再商品化引取量推移	38
2-3	再商品化比率	38
3	リサイクル実態調査	39
3-1	市区のリサイクル取り組み状況調査（ヒアリング）	39
VI	リデュース・リサイクル推進のための事例研究と啓発	47
1	事例研究	47
1-1	「3R改善事例集」による3R推進と情報発信	47
1-2	紙製容器包装の軽量化実態調査	50
2	啓発	53
2-1	当推進協議会パンフレットの更新	53
2-2	エコプロに出展	54
VII	全体のまとめ	58
1	紙製容器包装のマテリアルフロー	58
	資料編	60

I はじめに

本冊子は、2012～2022年度の容リ法改正対策委員会・総務委員会・技術委員会の活動報告書である。

紙製容器包装の「容器包装リサイクル制度の見直しに向けた提言」

2012年、当推進協議会は容リ法改正対策委員会を立上げ、紙製容器包装の「容器包装リサイクル制度の見直しに向けた提言」を作成しました。経済産業省紙業服飾品課（現在の素材産業課）での「雑誌・雑がみの有効利用に関する調査委員会」及び「識別マーク検討WG」にて「提言」について討議し、2013年産構審・中環審合同会合にて「提言」を発表しました。2016年「容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討のに関する報告書」にて、当推進協議会の「提言」が、「紙製容器包装の回収量拡大の観点からの識別表示の検討を引き続き行うべきである。」と考えられる施策の例として取り上げられました。

プラスチック資源循環戦略

2019年に開催されたG20大阪サミットで重要視され、策定された「プラスチック資源循環戦略」に関し、経済産業省が立上げたクリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）に2020年に当推進協議会も要請を受けて参加しました。

「今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性を踏まえた主な施策」について、経済産業省、環境省からも説明を受け、意見交換をした結果、2021年に制定され、翌2022年に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック資源循環促進法）」の基本的な方針の中で、「再生可能性の観点から再生プラスチックや再生可能資源（紙、バイオマスプラスチック等）に適切に切り替え…」と、再生可能資源として紙が明記されました。

自主行動計画

容器包装の素材にかかわる八団体で結成した3R推進団体連絡会が、2006年3月発表した自主行動計画「I 事業者による3R推進に向けた自主行動計画」、「II 主体間の連携に資する取り組み」（目標年次2010年度）及び第2次自主行動計画（2011～2015年度）に続き、自主行動計画2020（2016～2020年度）及び自主行動計画2025（2021～2025年度）を発表し、引き続き活動しています。

紙製容器包装リサイクル推進協議会の活動

自主行動計画2025において当推進協議会は、使用量削減を推進してのリデュース率（総量で2004年度比）で15%削減及び多様なリサイクルシステムを支援、回収率28%以上を目指します。

本冊子では、主にこの自主行動計画目標達成のため、容リ法改正への対応、紙製容器包装リサイクル実態把握のための調査及び3R推進のための啓発に対する委員会活動を報告する。

II 報告書の概要

本報告書は紙製容器包装リサイクル推進協議会が2012～2022年度にわたり活動した記録を集約したものである。

本報告書の内容は、自主行動計画2025目標達成に向けてのリデュースへの取り組み、リサイクル実態把握調査及び3R推進のための事例研究と啓発に係わる活動報告である。

1 リデュースの取り組み調査

紙製容器包装のリデュースの取り組み内容およびその事例を調査した。削減量は2006年より年度毎に包装用紙・紙器用板紙の出荷量を調査し、基準年（2004年）との比較により推定した。

2 紙製容器包装リサイクル実態把握のための調査

本冊子では、2012年、2015年、2018年の名古屋市モニター調査および2012年～2022年の紙製容器包装回収量アンケート調査、名古屋市の定点調査を含めた各種回収方法中の「紙製容器包装」の含有率を求めめるための組成分析調査（16市23回調査）を掲載し、2021年度実績（自主行動計画2025の初年度）算定までの調査報告の集大成版とした。

さらに、独自ルート及び容リルートの市区に紙製容器包装の回収に関するヒアリング調査（独自ルートのヒアリング調査 27市28回 容リルートのヒアリング調査 5市7回）を実施し、紙製容器包装の回収における実態調査を行いその内容も掲載した。

3 リデュース・リサイクル推進のための事例研究と啓発

消費者、自治体、国に、紙製容器包装の3R改善の取り組み及び紙製容器包装のリサイクルシステムの広報・啓発を行った。

この広報・啓発のため、紙製容器包装製造・利用事業者による「紙製容器包装3R改善事例集」を2007年度から毎年発行（2022年度第16版）し、当推進協議会のパンフレット、パネルを紙製容器包装のリサイクル事業内容を中心に更新した。

Ⅲ 容リ法改正対策委員会

紙製容器包装のリサイクルにおける論点整理を行い、容リ法見直しに対する意見整理を行い、それに向けた提言を整理して当推進協議会としての考え方をまとめる事を目的として、2012年3月19日の第3回理事会にて「容リ法改正対策委員会」を新たに設置しました。

1 紙製容器包装のリサイクル制度の見直しに向けた提言

当推進協議会では容リ法改正対策委員会にて、紙製容器包装を収集する市町村の拡大を要望、紙単体紙製容器包装と複合紙製容器包装の区別表示の設定と複合品の収集・リサイクルの促進を提言、三者の役割分担を維持・取り組みの深化、主体間連携の強化を図る「紙製容器包装のリサイクル制度の見直しに向けた提言（案）」を作成しました。

「紙推進協ニュース」、「セミナー」をとおして会員の皆様に説明し、御意見を伺うとともに、関係各主体（三省・自治体・消費者団体等）と意見交換を行った後、11月20日の第2回理事会にて「提言」を正式に提示しました。経済産業省紙業服飾品課の「雑誌・雑がみの有効利用に関する調査委員会」及び「識別マーク検討ワーキンググループ」にて当推進協議会の「提言」についても、自治体、古紙・製紙業界、消費者団体等で討議が行われ、紙単体紙製容器包装と複合紙製容器包装の区別表示の設定については概ね賛同が得られました。

「容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」における分別排出の考えられる施策の例として、「紙製容器包装の回収量の拡大の観点からの識別表示の検討を引き続き行うべきである」と課題として取り上げられていることを勘案して、2020年度第2回理事会（11月17日）で改訂しました。更に「プラスチック資源循環促進法」及び施行令等に基づく内容を加味して2021年度の第3回理事会（3月23日）で再改訂しました。

2 自主行動計画

2006年3月に2010年度を目標年次とした自主行動計画「I事業者による3R推進に向けた自主行動計画」を表明して、2011年12月に第一次自主行動計画の最終結果をフォローアップ報告会にてマスコミに発表しました。

第二次自主行動計画を2011年から、更に第三次となる自主行動計画2020を2016年からスタートし、現在では自主行動計画2025（第四次となる）を発表し、自主的な取り組みを進めています。

2-1 自主行動計画2025（2021年度～2025年度；第四次自主行動計画）目標

2021年3月に、自主行動計画2025（第四次自主行動計画）を発表した。

当推進協議会は紙製容器包装の3Rを推進するため、以下の自主的な取り組みを実施する。基準年度は2004年度、目標年次は2025年度とし、取り組みの結果については毎年度検証し、公表する。

【リデュースの推進について】

2025年度目標	取り組み項目例
使用量削減を更に推進し、総量で2004年度比15%削減を目指す。	軽量化・コンパクト化を進めるにあたり、中身製品の安心・安全性と商品情報提供の確保を大前提とし、環境負荷もバランスをとる。 3R改善事例の調査研究と具体的な削減効果の広報啓発を継続する。 「紙製容器包装の環境配慮設計の考え方」について、引き続き検討・研究を進める。

【リサイクルの推進について】

2025年度目標	取り組み項目例
多様なリサイクルシステムを支援し、回収率28%以上を目指す。	現行の回収率算定方法で、回収量・排出量調査や、回収物の組成調査を推進する。 リサイクル適性を考慮した容器包装設計の工夫に取り組む。 アルミ付き飲料用紙パックについて自主回収やNPO等の活動を応援する。

【その他識別表示等の推進】

—	取り組み項目例
容器包装リサイクル制度の見直しに向けた提言（識別表示の見直しを提言）	識別表示の区別表示の設定について引き続き検討を行います。 識別マーク周知のための広報を推進し、分別排出の徹底・品質向上を図る。

2-2 自主行動計画2025（初年度；2021年度）結果

自主行動計画2025の初年度である2021年度の取り組み実績に関し、2022年12月にフォローアップ報告会にてマスコミに発表した。

【リデュースの推進について】

2025年度目標	2021年度の取り組み実績
<p>使用量削減を更に推進し、2004年度比15%削減を目指す。</p> <p>紙製容器包装の「3R改善事例集」を発行し、実績を上げている各社の成果を波及させ、業界全体のレベルアップを図ります。</p> <p>環境配慮設計の推進。</p>	<p>容器包装での環境配慮に取り組んでいる商品事例調査を実施し、「紙製容器包装3R改善事例集第15版」を発行した。</p> <p>材料の軽量化や、容器のコンパクト化などの取り組みを向上し、使用量の削減を促進する。</p> <p>紙製容器包装用の紙・板紙の国内出荷量を指標とし基準年比18.8%削減で目標を達成した。</p>

【リサイクルの推進について】

2025年度目標	2021年度の取り組み実績
<p>多様なリサイクルシステムを支援し、回収率28%以上を目指す。</p> <p>リサイクル適性を考慮した環境配慮設計の工夫に取り組めます。</p> <p>アルミ付き飲料用紙パックについて自主回収やNPO等の活動を応援します。</p>	<p>分別収集実態把握のため、人口約9万人以上の市区を対象に「回収量アンケート調査」を実施、その結果より行政回収で、17.4%、集団回収で6.3%。合計回収率23.6%となった。</p> <p>酒パックリサイクル促進協議会への支援。</p> <p>NPOとの協働で、エコ酒屋などの回収の促進や、再生品の利用方法の開拓など取り組む</p>

【容器包装リサイクル制度の見直しに向けた提言】

2025年度目標	2021年度の取り組み実績
<p>紙製容器包装中の回収対象物と非対象物（難処理古紙）の設定に市町村ごとに差異があり、紙識別マークは多くの市町村で利用されていない。</p> <p>識別表示の区別表示の設定について引き続き検討を行います。</p>	<p>「紙製容器包装の回収量の拡大の観点からの識別表示の検討を引き続き行うべきである」との観点と、「プラスチック資源循環促進法」及び施行令等に基づく内容を加味して改訂を実施した。</p>

【主体間の連携に資する取り組み】

2025年度目標	2021年度の取り組み実績
<p>消費者・自治体・国など、各主体への協力及び連携により、容器包装廃棄物の3R推進を図るため、情報の共有化及び普及啓発などに努める。</p>	<p>展示会への出展及び充実3R推進・普及啓発のための自治体・NPO・学校のイベントなどへの協賛協力、3R推進・普及啓発のためのポスターなどの作成提供。</p>

3 CLOMA（クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス）参画

海洋プラスチックごみの問題解決に向けて、プラスチック製品の使用がより持続可能となる3Rの新たな取り組みや代替素材の開発・導入を推進し、官民連携でイノベーションを加速化するため、一般社団法人産業環境管理協会を事務局としサプライチェーンを構成する幅広い事業者からなる「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）」を2019年1月に設立されました。同5月に「プラスチック資源循環戦略」が正式に決定され、容リ制度の枠組み見直しにつながる可能性や「プラスチックから紙、バイオマスプラスチック等の再生可能資源への適切な代替の促進」等、直接係わる場所もあり、経済産業省資源循環経済課の要請を受けて、CLOMAに2020年2月に入会しました。海洋プラスチックごみ問題を解決するためにアクションプランの作成を目指して、Key action 5の紙・セルロース素材の開発・利用におけるテーマ2の未利用の紙系廃棄物、複合素材廃棄物のリサイクルを中心に参画しました。

その年の5月にCLOMAアクションプランが公開され、実行フェーズへ移行されました。紙カップ回収の実証実験等、具体的な活動を開始するなか、技術部会の委員にも新たに就任しました。更に印刷工業会液体カートン部会や全国牛乳容器環境協議会（容環協）にも同席してヒアリングするなど、活動しました。

IV リデュースの取り組み調査

前回の容器包装リサイクル法の改正見直し審議から、容器包装リサイクルに係わる関係八団体で、各容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進めるための「自主行動計画2025（第四次自主行動計画）」を2021年に策定し、毎年結果を報告することとした（目標年次は2025年度）。同時に容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の円滑な推進と普及啓発を行うとともに、加盟団体相互の情報交換を図るべく3R推進団体連絡会が平成2005年12月に発足している。

自主行動計画2025において、紙製容器包装はリデュースについて以下の目標を立てた。

2025年度目標	
実績を上げている各社の成果を普及させ、業界全体のレベルアップを図る	
<ul style="list-style-type: none"> ・包装の適正化を指導促進する。 ・軽量化、薄肉化の拡大を図る。 ・包装材の削減を図る。 	
「2025年度までに2004年度実績比で15%削減する」	

1 事業者のリデュースへの取り組み内容調査

実際の商品で実施されている広範囲な3R事例を、会員団体企業を中心に事例提供いただき、「紙製容器包装3R改善事例集」を作成している。

3R改善事例における紙製容器包装に対する事業者のリデュースへの取り組み内容を示す。

材質・部材等の 軽量化	① 用紙坪量(g/m ²)ダウン(嵩高紙の使用や強度UPなど)
	② 箱形状、糊代形状などの工夫でカートンブランクを縮寸
	③ 包装方法の変更(「箱→包装紙へ変更」等)による軽量化
小型化	① 詰め合わせ方法や配列の工夫による小型化
	② 内装材(中仕切・緩衝材など)の工夫による小型化
	③ その他の減容小型化
簡素化	① 従来包装構成要素、装飾部材などの削除、簡素化
	② 複数の容器包装の統廃合(多重包装を減らす)
	③ その他の簡素化

紙製容器包装の紙使用量削減は、容器包装の基本機能（内容物の保護、利便性、商品情報、輸送適性）を確保した上で、軽量板紙の利用、包装形態・形状の改善、紙の積層材の軽量化（貼合フィルム、アルミの軽量化）などの紙・部材材質の軽量化、容器のコンパクト化、糊代フラップの寸法縮小などの小型化、外箱の廃止・紙トレイ廃止などの簡素化などの取り組みが継続的に実施されている。

リデュース事例（事例集より抜粋）

項目	事例	削減内容
紙材質 軽量化	冷菓用外箱（㈱明治）	外箱の紙材質を 350g/m ² →310g/m ²
	調味料の外箱（味の素㈱）	外箱の紙材質を約 14%削減
	歯磨きチューブ製品（ライオン㈱）	原紙坪量を 350g/m ² →310g/m ²
	チョコレート菓子外箱（森永製菓㈱）	台紙の紙材質を約 10%削減
	チョコレート菓子外箱（森永製菓㈱）	内装板紙の材質を約 11%削減
	乳製品外箱（㈱明治）	外装紙蓋の紙材質を 370g/m ² →320g/m ²
	プレツェル菓子外箱（江崎グリコ㈱）	外箱の紙材質を 290g/m ² →270g/m ²
	冷菓用外箱（オハヨー乳業㈱）	紙蓋の紙坪量を 350g/m ² →310g/m ²
	スナック菓子外箱（㈱ロッテ）	外箱の紙材質を 310g/m ² →270g/m ²
	スタンドパウチ製品ボール箱（江崎グリコ㈱）	原紙坪量を 310g/m ² →270g/m ²
積層材 軽量化	化粧品用容器（花王㈱）	プラ窓付きを紙箱へ切替 プラ約 7.3g/個 削減
	化粧品用容器（花王㈱）	複合容器を廃止プラ約 10.3g、紙 3.8g/個 削減
	珈琲等飲料容器（守山乳業）	容器形状を屋根型から変更し重量を約 30g/個 削減
形態 改善	キャラメル菓子（森永製菓㈱）	中舟+外装を形態変更し 25%削減
	キャラメル菓子（森永製菓㈱）	内装箱を形態変更し 12%削減
	紙製飲料用容器（森乳業㈱）	紙箱を包装紙に変更し約 20g/個削減
	化粧品の二次包装箱（㈱花王）	紙箱からシュリンク台紙に変更し使用量約 51%削減
フラップ 形状 の改善	冷菓用外箱（森永製菓㈱）	糊代を短くし紙の使用量 14 t /年削減
	スナック菓子外箱（㈱明治）	内外面のフラップを縮寸 2%減量化した
	冷菓用カートン（㈱ロッテ）	表裏フラップを縮小 紙使用量 4.9% 削減
箱サイ ズを縮 小	チョコレート菓子（㈱明治）	外箱の奥行きサイズを縮小 紙使用量を 14%削減
	チョコレート菓子（森永製菓㈱）	内装・個包装の寸法を縮小 重量 7%削減
	パウチ製品化粧箱（森永製菓㈱）	詰め方を変更し板紙使用量を 9%削減
部材の 削減	化粧品の外箱（花王㈱）	紙箱を簡略化し紙器使用量を約 14%削減
	玩具用中台紙（㈱バンダイ）	中台紙を廃止 2.75g/個削減
	パッケージ用紙袋（㈱バンダイ）	洗濯ネットに変更し紙の使用量 104.1g/個削減
	調味料の中箱（味の素㈱）	中箱を廃止し直詰めとし紙使用量 61t/年削減

2 紙製容器包装の削減率推移

紙製容器包装では、代表的な(指標となる)容器形態がないため原単位による削減の把握が難しく、日本製紙連合会の統計情報より包装紙と紙器用板紙の出荷量をベースに、紙製容器包装用途となる紙・板紙の国内出荷量を推定し指標としている。

2021年の国内出荷量は基準年(2004年)比-18.8%となり、目標を達成した。(*1)前年比では4.7ポイント増だが、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出た年だった。



(表1) 紙製容器包装用途となる紙・板紙の国内出荷量の推移。基準年=2004年

<使用量の削減、今後の取り組み>

自主行動計画2025では、使用量削減を更に推進し、総量で基準年(2004年)比15%の削減を目指す。

V リサイクル実態把握のための調査

1 紙製容器包装分別収集の実態調査（回収率調査）

前回の容器包装リサイクル法の改正見直し審議から、容器包装リサイクルに係わる関係八団体で、各容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進めるための「自主行動計画」を2005年に策定し、同時に容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の円滑な推進と普及啓発を行うとともに、加盟団体相互の情報交換を図るべく3R推進団体連絡会が平成2005年12月に発足している。

現在では第4次となる自主行動計画2025を策定した（目標年次は2025年度）。本自主行動計画において、紙製容器包装はリサイクルについて以下の目標を立てた。

2025年度目標
「雑がみとしての普及促進を図り、回収率28%を達成する」
「高度なりサイクルがしやすいように複合材の見直しを図る」
「アルミ付飲料用紙パックについて自主回収やNPO等の活動を応援する」

回収率の算定には、紙製容器包装（容器包装リサイクル法対象）の総排出量及び自治体の回収量が必要となるが、公表されているデータが少ないため、当推進協議会で独自に調査することとした。

以下の調査を、総務・技術両委員会で分担して行った。

- A 全国の家から排出される紙製容器包装の総量の推定（モニター調査）
- B 自治体での回収分類毎の回収量調査（回収量アンケート調査）
- C 各回収分類における紙製容器包装の構成比調査（組成分析調査）

本調査結果から回収率を以下の方法で算定した。

$$\text{紙製容器包装の回収率} = \frac{\text{紙製容器包装の回収量}}{\text{全国の家から排出される紙製容器包装の総量 (A)}}$$

$$\text{紙製容器包装の回収量} = \left[\begin{array}{c} \text{回収分類毎の回収量} \\ \text{(B)} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{各回収分類における紙製容器包装} \\ \text{の構成比 (C)} \end{array} \right]$$

紙製容器包装の回収量調査では、容器包装リサイクル法ルート（指定法人ルート）及び市町村独自ルートを調査した。以下に各調査結果を示す。

1-1 紙製容器包装の総排出量調査（モニター調査）

1) 調査目的

家庭から排出される紙製容器包装の排出量調査の目的は、本調査の結果に基づいて日本全国から排出される紙製容器包装の量を拡大推計することである。

日本全国の家庭から排出される容器包装リサイクル法で対象とした紙製容器包装の排出量の公式データがないため、紙製容器包装リサイクル推進協議会でその量を掴む必要があると考え、2003年に名古屋市在住の家庭から排出される紙製容器包装の量を1ヶ月間にわたるモニター調査による測定データから日本全国から排出される量を拡大推計した。前回報告の2009年に続いて、2012年、2015年、2018年の結果を報告する。

2) 調査方法

①調査参加モニター数：

2012年 62人（62世帯代表 62世帯の合計人数=244人）

2015年 64人（64世帯代表、64世帯の合計人数=240人）

2018年 63人（63世帯代表、63世帯の合計人数=233人）

②モニター構成：

	世帯数（戸）			構成比（％）			人数（人）			構成比（％）		
	2012	2015	2018	2012	2015	2018	2012	2015	2018	2012	2015	2018
2人世帯	9	9	7	14.5	14.1	11.1	18	18	14	7.4	7.5	6.0
3人世帯	12	17	19	19.4	26.6	30.2	36	51	57	14.8	21.3	24.5
4人世帯	25	23	25	40.3	35.9	38.7	100	92	100	41.0	38.3	42.9
5人世帯	10	12	10	16.1	18.8	15.9	50	60	50	20.5	25.0	21.5
6人世帯	3	2	2	4.8	3.1	3.2	18	12	12	7.4	5.0	5.2
7人世帯	2	1	0	3.2	1.6	0	14	7	0	5.7	2.9	0
8人世帯	1	0	0	1.6	0	0	8	0	0	3.3	0	0
合計	62	64	63	100.0			244	240	233	100.0		

③モニター条件

ア. 名古屋市在住の方

イ. 家族構成が2人／世帯以上の方

ウ. 事前説明会に参加できる方

④調査期間：2012年6月1日～30日（1ヶ月間）

2015年6月1日～30日（1ヶ月間）

2018年6月1日～30日（1ヶ月間）

⑤調査対象物の選別方法

毎日出る家庭ごみの中から選別する次の2つの紙製容器包装を対象とする

ア. 各世帯で本調査の前から行なっている分別方法に則り選別される紙製容器包装

イ. 食物などの付着で汚れ、通常は可燃ごみに出してしまう紙製容器包装

⑥調査対象物のデータ測定方法

上記5) で対象物になったものを毎日、次の4つの分類に分け、それぞれを重量測定しそのデータをシートに記入する

ア. 「①単体」(紙箱、包装紙、紙袋、紙製卵パック、ティッシュボックス、他)

イ. 「②複合」(酒パック、洗剤箱、金銀紙、紙缶、スナックカップ、他)

ウ. 「③可燃ごみ」(納豆紙カップ、即席麺紙カップ、ヨーグルト紙カップ、他)

3) 結果概要

①主要データ整理

			一人当たり排出量		紙製容器包装中%	
			(g/月)	(g/年)		
排出量全体	紙製容器包装	①紙単体	2012	418	5,091	71.2
			2015	400	4,863	73.7
			2018	359	4,373	74.8
		②複合素材	2012	96	1,173	16.4
			2015	81	986	14.9
			2018	69	843	14.4
		小計①+②	2012	515	6,264	87.6
			2015	481	5,850	88.7
			2018	429	5,216	89.2
		③可燃ごみ	2012	73	887	12.4
			2015	62	749	11.4
			2018	52	633	10.8
		紙製容器包装合計 ①+②+③	2012	588	7,151	100.0
			2015	542	6,598	100.0
			2018	481	5,849	100.0

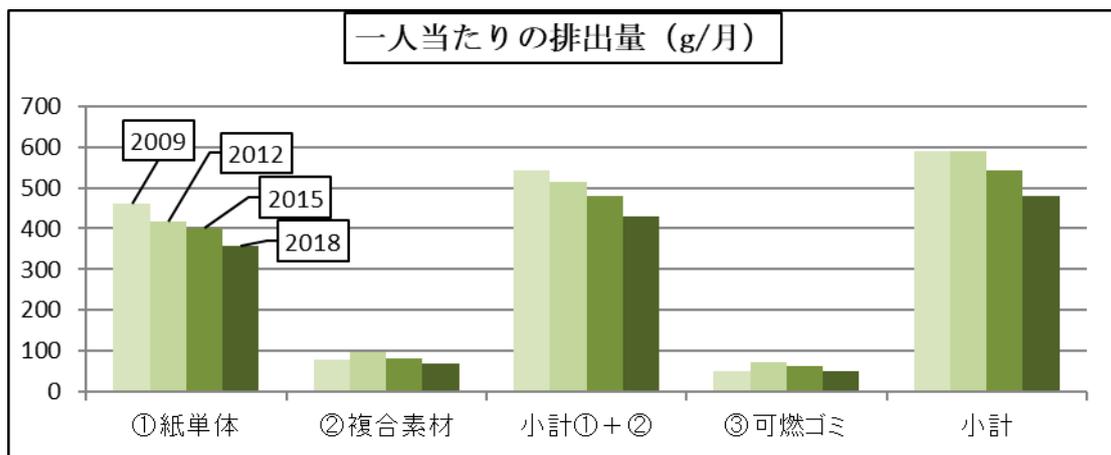
2018年の実績から、全体中では紙単体が74.8%、複合が14.4%、可燃ごみが10.8%となった。

②紙製容器包装の排出量推移

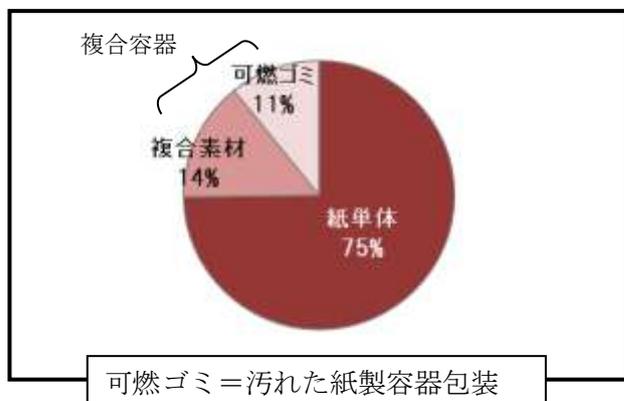
下記に前回までの過去4回（2009 2012 2015 2018 実施）の結果を示す。このデータから、家庭から排出される紙製容器包装の量（一人当たりの排出量（g/月））は減少傾向にあることがわかる。

紙製容器包装の排出量（一人当たりの排出量（g/月））

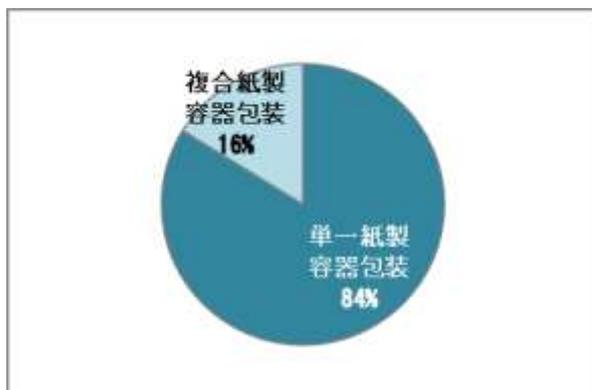
	2009 (g/月)	2009 紙製容器 包装中の%	2012 (g/月)	2012 紙製容器 包装中の%	2015 (g/月)	2015 紙製容器 包装中の%	2018 (g/月)	2018 紙製容器 包装中の%
①紙単体	462	78.3%	418	71.2%	400	73.7%	359	74.8%
②複合素材	79	13.4%	96	16.4%	81	14.9%	69	14.4%
小計①+②	541	91.7%	515	87.6%	481	88.7%	429	89.2%
③可燃ゴミ	49	8.3%	73	12.4%	62	11.4%	52	10.8%
小計	590		588		542		481	



③紙製容器包装中の紙単体と複合素材及び汚れている紙製容器包装の割合（2018 調査）



④資源として出される紙製容器包装中での紙単体と複合素材の割合（2018年調査）



4) 拡大計算による紙製容器包装の推定総排出量

	対象分類	推定排出量		計算式
		年	トン/年	
ア	紙製容器包装の 回収可能量 ①+②	2012	800,479	429g/人/月 ÷ 30 × 365 × 126,706 千人(日本総人口)
		2015	743,013	
		2018	660,941	
イ	紙製容器包装の 総排出量 ①+②+③	2012	913,505	481g/人/月 ÷ 30 × 365 × 126,706 千人(日本総人口)
		2015	838,115	
		2018	741,117	

注：日本の人口 2018年6月1日を使用

各調査における“家庭から排出されるリサイクル可能な紙製容器包装総排出量”を以下に見込む。（可燃ごみ分はリサイクル対象外となるため排出量から除外した）

2012年調査	2015年調査	2018年調査
800,479トン/年	743,013トン/年	660,941トン/年
2012年～2014年 度回収率算定に使用	2015年～2017年 度回収率算定に使用	2018年～2021年 度回収率算定に使用

名古屋市の家庭からの紙製容器包装排出量調査結果(※2018年度モニター調査)

モニターNo	排出区分	世帯当たり排出量(g/30日)					家族人数	各家庭一人当たり排出量(g/30日)				
		①	②	①+②	③	①+②+③		①	②	①+②	③	①+②+③
		紙単体	複合素材	リサイクル	可燃	小計		紙単体	複合素材	リサイクル	可燃	紙計
1		2,496	416	2,912	459	3,371	3	832	139	971	153	1,124
2		2,286	502	2,788	474	3,262	6	381	84	465	79	544
3		1,515	30	1,545	97	1,642	3	505	10	515	32	547
4		540	860	1,400	95	1,495	4	135	215	350	24	374
5		947	75	1,022	201	1,223	2	474	38	511	101	612
6		468	328	796	28	824	5	94	66	159	6	165
7		795	173	968	162	1,130	3	265	58	323	54	377
8		1,112	151	1,263	9	1,272	3	371	50	421	3	424
9		2,408	226	2,634	33	2,667	5	482	45	527	7	533
10		2,848	248	3,096	461	3,557	4	712	62	774	115	889
11		1,412	256	1,668	160	1,828	4	353	64	417	40	457
12		1,119	148	1,267	189	1,456	3	373	49	422	63	485
13		474	98	572	148	720	2	237	49	286	74	360
14		539	410	949	153	1,102	3	180	137	316	51	367
15		1,092	45	1,137	82	1,219	2	546	23	569	41	610
16		1,910	265	2,175	320	2,495	4	478	66	544	80	624
17		1,109	55	1,164	171	1,335	4	277	14	291	43	334
18		1,306	93	1,399	223	1,622	4	327	23	350	56	406
19		2,262	101	2,363	96	2,458	4	565	25	591	24	615
20		2,180	290	2,470	2,060	4,530	3	727	97	823	687	1,510
21		1,539	223	1,762	294	2,056	5	308	45	352	59	411
22		1,744	308	2,052	229	2,281	3	581	103	684	76	760
23		914	147	1,061	74	1,135	3	305	49	354	25	378
24		2,136	18	2,154	162	2,316	4	534	5	539	41	579
25		1,467	146	1,613	61	1,674	4	367	37	403	15	419
26		1,634	205	1,839	0	1,839	4	409	51	460	0	460
27		1,393	293	1,686	21	1,706	4	348	73	421	5	427
28		2,165	107	2,272	23	2,295	4	541	27	568	6	574
29		2,299	950	3,249	305	3,554	4	575	238	812	76	889
30		1,730	110	1,840	170	2,010	3	577	37	613	57	670
31		959	38	997	133	1,130	4	240	10	249	33	283
32		653	155	808	0	808	4	163	39	202	0	202
33		1,457	26	1,483	0	1,483	3	486	9	494	0	494
34		801	235	1,036	6	1,042	5	160	47	207	1	208
35		2,861	438	3,299	320	3,619	5	572	88	660	64	724
36		1,047	57	1,104	85	1,189	4	262	14	276	21	297
37		1,514	5	1,519	632	2,151	3	505	2	506	211	717
38		1,507	192	1,699	182	1,881	4	377	48	425	46	470
39		555	344	899	202	1,101	4	139	86	225	51	275
40		1,173	166	1,339	56	1,395	2	587	83	670	28	698
41		1,832	199	2,031	430	2,461	5	366	40	406	86	492
42		602	113	715	0	715	2	301	57	358	0	358
43		925	713	1,638	171	1,809	2	463	357	819	86	905
44		1,253	187	1,440	9	1,449	3	418	62	480	3	483
45		815	250	1,065	0	1,065	5	163	50	213	0	213
46		914	364	1,278	182	1,460	6	152	61	213	30	243
47		843	296	1,139	531	1,670	4	211	74	285	133	418
48		962	0	962	79	1,041	3	321	0	321	26	347
49		1,113	428	1,541	17	1,558	3	371	143	514	6	519
50		1,172	122	1,294	142	1,436	4	293	31	324	36	359
51		767	26	793	51	844	2	384	13	397	26	422
52		1,670	345	2,015	57	2,072	3	557	115	672	19	691
53		649	47	696	294	990	3	216	16	232	98	330
54		617	1,233	1,850	0	1,850	4	154	308	463	0	463
55		125	183	308	270	578	5	25	37	62	54	116
56		895	279	1,174	172	1,346	4	224	70	294	43	337
57		1,382	482	1,864	263	2,127	3	461	161	621	88	709
58		2,180	960	3,140	45	3,185	4	545	240	785	11	796
59		1,123	243	1,366	17	1,383	4	281	61	342	4	346
60		1,508	272	1,780	592	2,372	5	302	54	356	118	474
61		1,135	302	1,437	100	1,537	4	284	76	359	25	384
62		2,380	75	2,455	95	2,550	5	476	15	491	19	510
63		520	97	617	26	643	3	173	32	206	9	214
合計(月)		83,748	16,149	99,896	12,118	112,014	233	23,484	4,469	27,953	3,464	31,417
月平均(g/人)		359	69	428.7399	52	480.7485	3.70	46.136	8.800	54.935	6.774	61.710
年平均(g/人)		4,373	843	5,216	633	5,849		91,890	17,516	109,406	13,469	122,875

< 2018年度集計 >	製紙原料: 適	紙製容器包装計
全国拡大推計(×126,706千人)(t/年)	660,941	741,117
< 2015年度集計 >	製紙原料: 適	紙製容器包装計
全国拡大推計(×127,016千人)(t/年)	743,013	838,115
< 2012年度集計 >	製紙原料: 適	紙製容器包装計
全国拡大推計(×127,753千人)(t/年)	800,479	913,505

1-2 組成分析調査（市町村独自ルート）

1) 調査目的

行政収集及び集団回収における「雑誌・雑がみ」、「雑がみ」、「古紙」の組成分析を調査により、紙製容器包装の組成比率を求めることを目的とする。

市町村で行われている分別収集について、市町村ヒアリング調査、及び組成分析調査の2つの方法で行った。

2) 調査方法

(1) 組成分析調査方法及び分類項目

①調査方法

■「雑誌・雑がみ」の場合

- i) 「雑誌・雑がみ」の混合物から重量のもっとも多い「雑誌」を分別し、分別したものの重量を測定した。
- ii) 上記分別後、下記 22 分類で分別し、各分類の重量を測定した。

■「雑がみ」の場合

- i) 「雑がみ」を下記 22 分類で分別し、各分類の重量を測定した。

・ 22 分類

《製紙原料に向くもの》

1 紙箱 2 ティッシュ箱 3 紙袋 4 包装紙 5 マルチパック

6 新聞・チラシ 7 雑誌 8 段ボール 9 アルミ無し紙容器（牛乳パックなど）

10 紙小物・ポスター他 11 紙芯 12 その他（製紙原料に向くもの）

《製紙原料に向かないもの》

13 洗剤箱・線香箱 14 金銀箱 15 複合材（飲料容器；アル付）

16 複合材（カップ） 17 複合材（紙袋） 18 複合材（紙箱、包装紙）

19 フィルム貼りの紙 20 カーボン紙、シュレッダー 21 その他（製紙原料に向かないもの）

22 汚れた紙製容器包装

* 16～18 の複合材とはプラスチックと紙を貼り合わせた紙製容器包装を云う。

* アンダーラインを付したものは、容器包装リサイクル法の対象となる「紙製容器包装」であることを示す。

* 組成分析調査対象

調査対象にしたサンプルについては、市中から収集したそのものであり、市町村がプレ選別はしていない。

(2) 組成分析調査対象

①調査一覧

組成分析調査一覧

市区	組成分析調査			
	日程	分析実施場所	調査重量 (kg)	選定理由
八王子市	2012年11月29日	戸吹クリーンセンター	1108	「雑誌・雑がみ」を行政収集
松山市	2013年7月19日	㈱カネシロ	1085	「雑誌・雑がみ」を行政収集
札幌市	2013年9月3日	中沼雑がみ選別センター	522	「雑がみ」を行政収集
釧路市	2014年7月18日	釧路市資源リサイクルセンター	476	「雑がみ」を行政収集
宮崎市	2014年10月24日	㈱山崎資源センター	844	「雑誌(その他の紙)」を行政収集
大分市	2015年9月18日	ゆうび(株) 片島事業所	1,599	「その他の紙(雑誌含む)」を行政収集
福岡市	2016年5月13日	福岡市クリーンパーク・臨海	614	「雑紙(雑誌含む)」を集団回収
函館市	2016年9月9日	㈱函館古紙センター いましま	783	「ダンボール(雑がみ含む)」を集団回収
苫小牧市	2017年6月16日	㈱苫小牧清掃社 リサイクルセンター	526	「紙類」を行政収集
鹿児島市	2017年10月10日	日本資源流通(株)	1,299	「古紙」を行政収集
出雲市	2018年10月19日	出雲リサイクルセンター	929	「古紙」を行政収集
倉敷市	2019年10月18日	田中商会(株)	1,296	「雑誌・雑がみ」を集団回収

組成分析の実施にあたっては前もって市役所担当部署に連絡をし、組成分析実施の協力(組成分析場所の提供、古紙問屋への協力依頼)をお願いした。

② 組成分析場所選定理由

紙製容器包装の回収方式が市区により異なっているため、各方式毎の対象市の組成分析を行った。

紙製容器包装の回収方式は以下の方式に大別される。

- i) 行政収集により「雑がみ」分類で回収
- ii) 行政収集により「雑誌・雑がみ」分類で回収
- iii) 集団回収により「雑がみ」分類で回収
- iv) 集団回収により「雑誌・雑がみ」分類で回収

行政収集と集団回収を併用している市では、両者の方式の組成分析調査を実施した。

2011年までの組成分析調査のうち、2008年から2010年までは集団回収の調査を実施し、他は行政収集の組成分析を中心に調査を実施してきた。特に2011年からは行政収集における「雑誌・雑がみ」を調査し、途中2回の行政収集の「雑がみ」を挟み2015年まで継続して調査した。以降は集団回収や「古紙」の調査を実施したのち、2018年からは行政収集の「雑誌・雑がみ」の調査を実施した。

3) 調査結果

(1) 紙製容器包装の占める割合

本調査での行政収集と集団回収における紙製容器包装の構成比は以下のようになった。
調査市の平均値を示す

	雑がみ		雑誌・雑がみ	
	行政収集	集団回収	行政収集	集団回収
紙製容器包装成分 (%)	40.4	42.8	12.9	10.5
内訳) 紙単体 (製紙原料適)	38.2	40.6	12.2	10.2
複合品 (製紙原料不適)	2.2	2.3	0.7	0.3
全体中製紙原料に向くもの (%)	96.6	97.3	98.7	99.4
全体中製紙原料に不適 (%)	3.8	2.7	1.3	0.6

<調査市>

行政収集「雑がみ」：5市（厚木市、横浜市、富士市、札幌市、釧路市）

行政収集「雑誌・雑がみ」：9市（多摩市、柏市、久喜市、小平市、春日部市、八王子市、
松山市、宮崎市、大分市）

集団回収「雑がみ」：5市（伊勢原市、千葉市、横須賀市、山形市、静岡市）

集団回収「雑誌・雑がみ」：5市（千葉市、川越市、横浜市、仙台市、多摩市）

①行政収集「雑がみ」（「その他の紙」）

2012年～2017年に3市にて行政収集「雑がみ」の組成分析を実施した。各市の組成分析結果を図1に示す。

この分類中での市中からの回収物に占める紙製容器包装の割合は、3市の平均で40.4%となった。紙製容器包装の内訳では紙単体（紙箱、包装紙、紙袋、マルチパック）は38.2%、複合品（液体紙容器、紙カップ、洗剤箱など）は2.2%となった。

②行政収集「雑誌・雑がみ」

2012年～2019年に7市にて行政収集「雑誌・雑がみ」の組成分析を実施した。各市の組成分析の結果を図2示す。

この分類中での市中からの回収物に占める紙製容器包装の割合は、7市平均で12.9%となった。紙製容器包装の内訳では、紙単体（紙箱、包装紙、紙袋、マルチパック）は12.2%、複合品（液体紙容器、紙カップ、洗剤箱）は0.7%となった。

本分類中では、雑誌がもっとも多く55.5%を占めている。

③行政収集「古紙」

2017年に1市にて行政収集「古紙」の組成分析を実施した。

各市の組成分析結果を図3に示す。

この分類中での市中からの回収物に占める紙製容器包装の割合は、3.8%となった。紙製容器包装の内訳では紙単体（紙箱、包装紙、紙袋、マルチパック）は3.6%、複合品（液体紙容器、紙カップ、洗剤箱）は0.2%となった。

④集団回収「雑誌・雑がみ」、他（「ダンボール」）

2016年に集団回収「雑誌・雑がみ」を1市、集団回収「ダンボール」を1市の組成分析を実施した。各市の組成分析の結果を図4に示す。

「雑誌・雑がみ」の市では市中からの回収物に占める紙製容器包装の割合は、5.4%となり、その内訳では、紙単体（紙箱、包装紙、紙袋、マルチパック）は5.2%、複合品（液体紙容器、紙カップ、洗剤箱）は0.2%となった。本分類中では、雑誌が65.6%を占めている。

「ダンボール」の市では市中からの回収物に占める紙製容器包装の割合は、18.5%となり、その内訳では、紙単体（紙箱、包装紙、紙袋、マルチパック）は18.0%、複合品（液体紙容器、紙カップ、洗剤箱）は0.5%となった。本分類中では、ダンボールが全体の3/4以上の77.0%を占めている。

(2)「雑誌・雑がみ」「雑がみ」中の各収集物の構成比

	雑がみ	雑誌・雑がみ		古紙	
	行政収集	行政収集	集団回収	行政収集	集団回収
単一紙製容器包装	30.4%	11.7%	5.2%	3.6%	18.0%
複合紙製容器包装	3.4%	1.0%	0.2%	0.2%	0.5%
紙小物・ポスター等	23.6%	24.9%	21.4%	2.9%	2.2%
雑誌	9.1%	46.2%	65.6%	20.0%	1.1%
新聞チラシ	16.8%	12.6%	6.8%	47.7%	0.7%
段ボール	7.9%	1.9%	0.5%	24.6%	77.0%
飲料用紙容器(AL無)	2.7%	0.9%	0.0%	0.5%	0.1%
製紙不可	6.3%	0.8%	0.3%	0.4%	0.3%

網掛けした品目が、各分類の収集対象物。他は、他の回収分類品目及び禁忌品の混入等

①雑がみ回収

行政収集での対象収集物（紙製容器包装+紙小物。ポスター等）は57%、他分類からの混入（雑誌、新聞チラシ、段ボール、飲料用紙容器（AL無））は37%、禁忌品は、3.4%、異物など不適合物は6.3%となった。

②雑誌・雑がみ回収

行政収集での対象収集物（雑誌+紙製容器包装+紙小物、ポスター等）は83%、集団回収での対象収集物は92%となった。他分類からの混入（新聞チラシ、段ボール、飲料用紙容器（AL無））は行政15%、集団7%であり、禁忌品は行政1.0%、集団0.2%、異物などの不適合物は行政0.8%、集団0.3%となった。

集団回収の方が、対象収集物の割合がやや高く、他分類の混入が少ない。

③製紙原料に向くものとしては雑がみ分類では、行政88%、雑誌・雑がみ分類では行政・集団共に約98%と高い比率で構成されている。

3) まとめ

- ・「雑がみ」分類で製紙原料に向く紙製容器包装が34%を占めていることから、本方法は紙製容器包装の回収方法として有効である。
- ・製紙原料不適な物として、紙製容器包装の複合品（禁忌品）が「雑がみ」回収で全体構成中に2～6%混入している。製紙原料にリサイクルする工程で異物として除去されているが、混入低減が今後の課題となる。
- ・雑がみを雑誌と一緒に回収する「雑誌・雑がみ」分類では、製紙原料に向くものの構成比が98%前後と向上する。紙製容器包装の回収は「雑誌・雑がみ」分類では「雑がみ」分類より低下する傾向にある。





1-3 組成分析調査（指定法人ルート）

1) 調査目的

容器包装リサイクル法にのっとり「紙製容器包装」分類で収集された回収物の組成の実態を調査する。

2) 調査方法

(1) 組成分析調査方法及び分類項目

①調査方法

名古屋市市中より紙製容器包装として収集された家庭系廃棄物を目視にて24種類の組成に分類し、それぞれの組成の重量を求め、全廃棄物がどのような組成で成り立っているかを調べる。

②分類項目

「紙製容器包装」組成分析調査の分類項目

区 分	種 類	測定値(kg)		全体中の比率 (%)		紙製容器包装中の比率 (%)	
		単 一	複 合	単 一	複 合	単 一	複 合
紙製容器包装	紙箱	単一素材					
		単一 マルチパック					
		単一 ティッシュボックス					
		複合素材 複合の箱					
		複合素材 洗剤の箱					
		金銀					
		飲料容器(アルミ付き)	複合素材				
		紙カップ、紙トレイ	複合素材				
		紙管製容器	複合素材				
		包装紙	単一素材				
複合素材							
	紙袋	単一(取っ手部分が異材質含む)					
		複合(袋部が複合素材など)					
	パルプモールド	単一素材					
	紙製容器包装 小 計						
紙製容器包装以外	段ボール						
	紙パック(アルミなし)						
	段ボール・紙パック 小計						
	一般の古紙	新聞、チラシ					
		雑誌					
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))					
		紙芯					
	一般古紙 小計						
	不適合物	その他製紙原料不適合物(感熱紙、キーン紙等)					
		その他プラスチック類					
残さ(その他金属等)、汚れ品等							
不適合物 小計							
紙製容器包装以外 小 計							
合 計							
排出用ポリ袋							

排出用ポリ袋、その他プラスチック類も調査に加えた。(不適合物の内訳調査)

(2) 組成分析調査対象

容器包装リサイクル法ルートで紙製容器包装の排出量のもっとも多い名古屋市に対して2005年以降も毎年実施している。(本調査は2003年から実施している定点観測)

3) 調査結果

(1) 収集物全体中での構成比

- ・2012年～2022年に名古屋市「紙製容器包装」の組成分析結果を図5に示す。
2012年～2022年の平均値の、紙製容器包装(単体+複合)、段ボール、紙パック、一般古紙、不適合物に分類した構成比は次のようになった。

品目	構成比
紙製容器包装	69.31%
段ボール	9.95%
紙パック	5.01%
一般古紙	14.32%
不適合物	1.39%

(単体 58.58%、複合 10.73%)

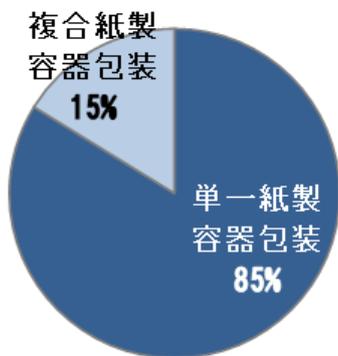
一般古紙：新聞チラシ、雑誌、封筒紙小物、紙芯

不適合物：感熱紙等紙類、排出用プラ袋等プラ類、汚れ物等

- ・行政収集での紙製容器包装分類の収集物中に、紙製容器包装が約7割で紙製容器包装以外が約3割混入していた。
- ・収集物全体中で製紙原料に成り得るものの構成比としては、単体紙製容器包装、段ボール、紙パック、一般古紙の合計で88%となる。

(2) 紙製容器包装中での構成比

- ・単一素材の紙箱、包装紙、紙袋、パルプモールド、複合素材の紙箱、包装紙・紙袋、飲料用紙容器(AL付き)、紙カップ・紙トレイ・紙管、に分類した構成比を図6に示す。
- ・図5から2012年から2022年では、単一素材紙箱は75%前後、単一素材包装紙は1～6%、単一素材紙袋は1～10%の範囲にあり、他は複合材となる。
- ・2012年から2022年の平均から、単一素材紙箱・包装紙・紙袋は84.5%、複合材品15.5%となった。容リルートで家庭から排出される紙単体紙製容器包装と複合品は以下の割合と推定される。



<単一紙製容器包装> 85%

紙箱、包装紙、紙袋

<複合紙製容器包装> 15%

飲料用紙容器（AL付き）、紙カップ・トレイ、
複合（紙箱、包装紙、紙袋）

複合紙製容器包装は、汚れたものとして燃えるごみに捨てられているため、複合容器の家庭での使用割合はこれよりも多くなると推察される（モニター調査結果参照）。

- ・容リルートで家庭から排出される紙製容器包装は、構成比で多い順で以下のようであった。

2012～2018年の平均値

単一素材紙箱	75.8%
単一素材紙袋	4.4%
単一素材包装紙	3.8%
パルプモールド	0.4%
複合箱	5.4%
飲料用紙容器（AL付き）	4.3%
紙カップ・トレイ・紙菅	4.8%
複合包装紙・紙袋	1.0%

*単一素材紙箱が約3/4を占めている。

4) まとめ

- ・名古屋市の容リルートで家庭から排出される紙製容器包装分類での収集物は、紙製容器包装（単一素材＋複合素材）の占める割合は約70%、他分類古紙の混入が約30%弱となった。
- ・また製紙原料に向く紙製容器包装は、紙製容器包装中の約85%であり、製紙原料に向かない紙製容器包装は約15%であった。
- ・紙製容器包装分類収集物の、約60%が選別され、選別された紙製容器包装の約85%が製紙原料向けに、約15%が固形燃料向けに選別されていると推察される
- ・名古屋以外の容リルートでは3市区で調査をしましたが、構成比は名古屋で実施している定点調査とほぼ同等の結果でした（図7、図8参照）。

図5 指定法人ルート:名古屋市「紙製容器包装」組成分析 回収物全体中の構成比

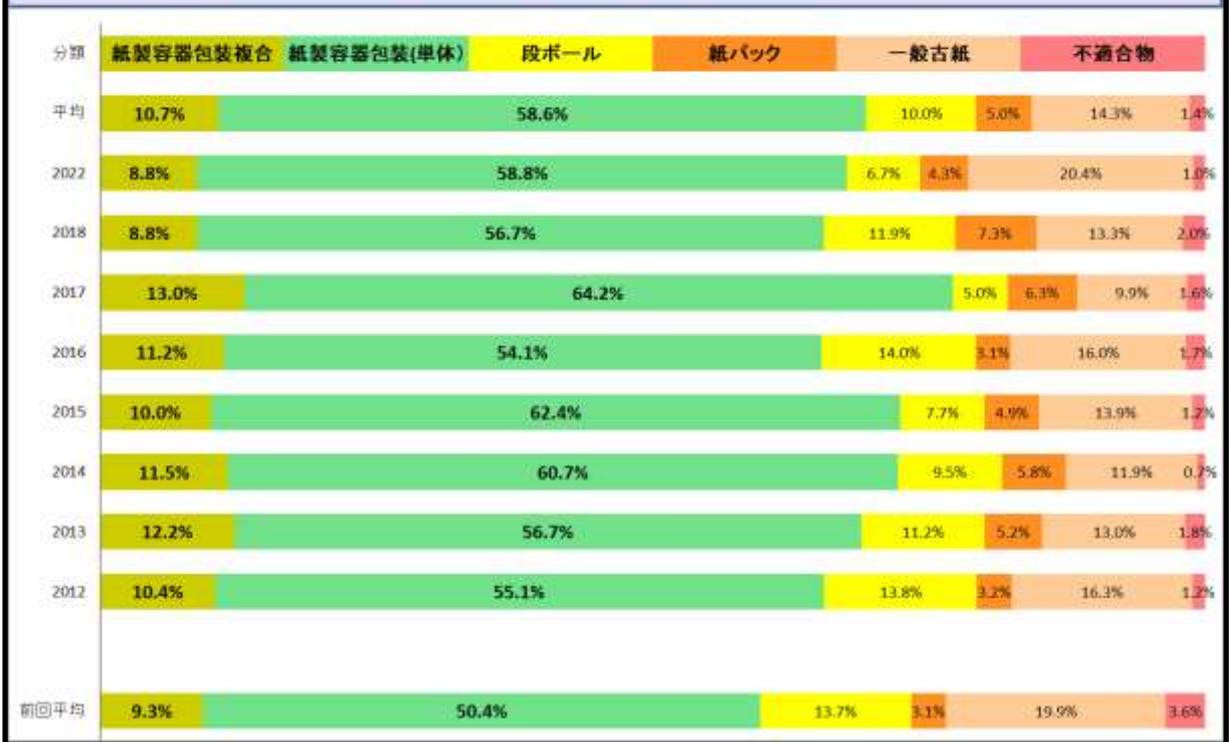
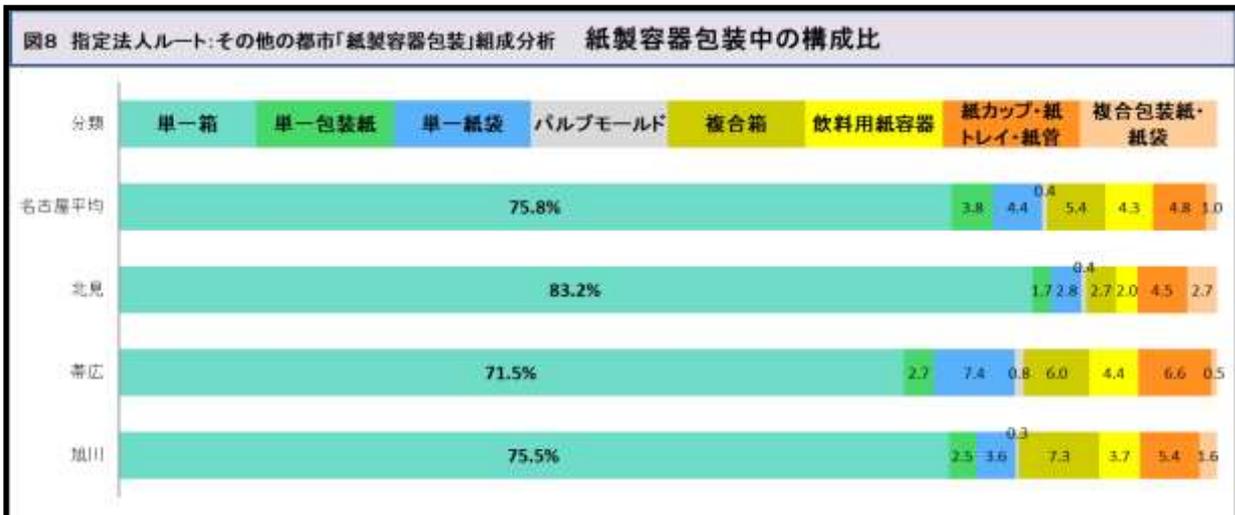
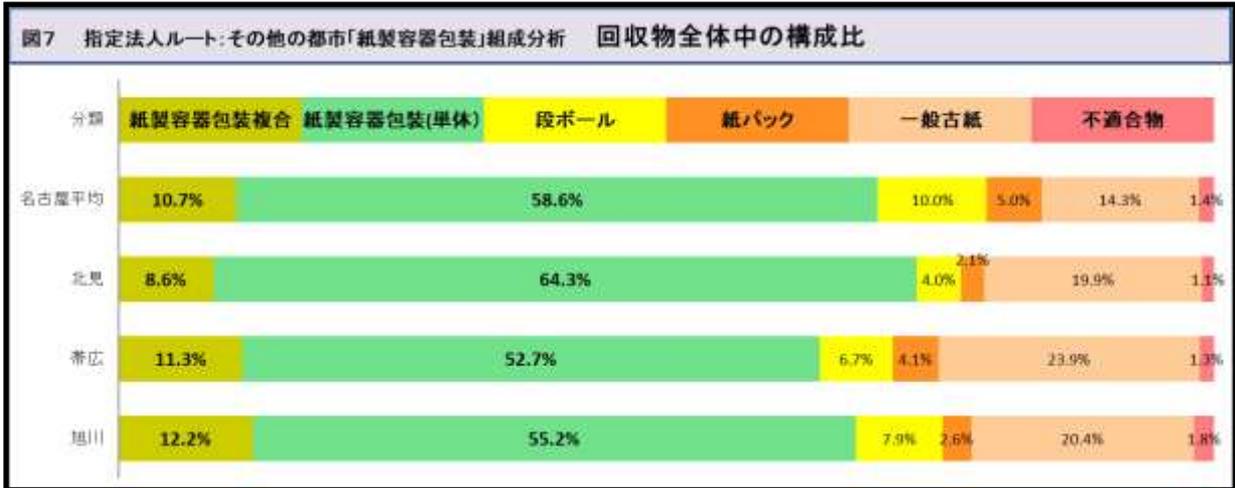


図6 指定法人ルート:名古屋市「紙製容器包装」組成分析 紙製容器包装中の構成比





1-4 紙製容器包装の回収量調査

“その他紙製容器包装”に関しては、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会ルートの引取り量は増えていないが、環境省からは分別収集の市町村実施率は増加していることが報告されている。しかし、雑誌や雑がみに混ぜて出すように指導している自治体も多く、実際にどれ位の“その他紙製容器包装”が資源として回収されているか数値把握されていないのが実態である。

そのため、市区へのアンケートにより回収量の調査を2007年から毎年実施した。

1) 調査目的

“その他紙製容器包装”の資源回収量のアンケート調査により、全国の回収量を推定計算し、2012年、2015年、2018年に当推進協議会が行なった家庭からの排出量調査の結果と合わせて、全国での“その他紙製容器包装”の回収率を算定することを目的とする。

2) 調査方法

①対象：人口10万人以上の自治体

2012年調査	294市区	2013年調査	295市区
2014年調査	295市区	2015年調査	295市区
2016年調査	295市区	2017年調査	295市区
2018年調査	295市区	2019年調査	295市区
2020年調査	295市区	2021年調査	295市区

②方法：アンケート方式

*総務委員が分担して、各市区の該当部署担当者にアンケート回答承諾確認後、メール又はFAXにてアンケート書式を送付。

③調査期間：毎年7月～9月

② アンケート書式

アンケート書式は、2007年、2008年、2010年と改訂し、回答の精度をあげるため設問方式とした現在の書式を使用している。

アンケート書式

送信先：紙製容器包装リサイクル推進協議会 FAX:03-3501-0203 yamagata@kami-suisinkyo.org			
アンケート用紙（2022年度実績の紙製容器包装の回収方法及び回収量について）			
			2023年 月 日
都道府県名		市区名	
		2022年度末の人口	
ご回答者名	所属部署名		
	役職・氏名		

1 調査の目的

紙製容器包装の回収方法・回収量を継続的に把握することを目的としています。
本調査での紙製容器包装とは容器包装リサイクル法で定めた「その他の紙製容器包装」であり、段ボール、飲料用紙パック（アルミ無し）以外の紙箱、紙袋、包装紙、紙カップ、飲料用紙パック（アルミ付き）などを指しています。

2 調査の内容

- I 紙資源の回収方法
- II 紙資源の回収量
- III 行政収集での紙製容器包装の回収方法・回収量
※ 行政収集：一般収集、拠点回収など行政がかかわる収集方法全て
- IV 集団回収での紙製容器包装の回収方法・回収量
- V 紙識別マークについて
- VI その他ご意見

3 調査対象

人口9万人以上の市区

4 回答年度

2022年度実績

5 提出期限

2023年8月3日（木）までにご回答をよろしくお願いいたします。

6 返信先（メール又はFAX）

紙製容器包装リサイクル推進協議会 FAX 03-3501-0203 yamagata@kami-suisinkyo.org

7 問合せ先

紙製容器包装リサイクル推進協議会 事務局 山縣
TEL 03-3501-6191 FAX 03-3501-0203 yamagata@kami-suisinkyo.org

8 報告書の送付

本調査結果をまとめた報告書をご送付いたしますので、お送り先のご記入をよろしくお願いいたします。

部署名	
所属上長名（課長名等）	
ご住所	〒

<アンケート調査設問>

I 家庭から排出される紙資源（古紙）の回収方法についてお尋ねします。

問1 貴自治体では、家庭から排出される紙資源をどのような方法で回収していますか。次の中から該当する番号を選んで☑を付けてください。

- 1 行政収集のみで行っている
- 2 住民の集団回収のみで行っている
- 3 行政収集と集団回収を両方とも行っている
- 4 行政収集も集団回収も行っていない
- 5 その他（具体的に： _____）

問2 紙資源として回収しているものを選んで☑を付けてください。（複数選択可）

行政収集

集団回収

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1 新聞 | <input type="checkbox"/> 1 新聞 |
| <input type="checkbox"/> 2 段ボール | <input type="checkbox"/> 2 段ボール |
| <input type="checkbox"/> 3 飲料用紙パック | <input type="checkbox"/> 3 飲料用紙パック |
| <input type="checkbox"/> 4 雑誌 | <input type="checkbox"/> 4 雑誌 |
| <input type="checkbox"/> 5 雑誌・雑がみ | <input type="checkbox"/> 5 雑誌・雑がみ |
| <input type="checkbox"/> 6 雑がみ | <input type="checkbox"/> 6 雑がみ |
| <input type="checkbox"/> 7 紙製容器包装 | <input type="checkbox"/> 7 紙製容器包装 |
| <input type="checkbox"/> 8 その他（ _____ ） | <input type="checkbox"/> 8 その他（ _____ ） |

※ 飲料用紙パック：牛乳などのアルミ付きでない液体紙容器
 ※ 雑がみ：チラシ、パンフレット、コピー紙、紙箱、紙袋、包装紙など

II 家庭から排出される紙資源（古紙）の回収量についてお尋ねします。

問3 問2の回答で☑を付けたものに対する回収量をご記入ください。個々の回収量の集計がない場合は、古紙総量をご記入ください。

	行政収集	集団回収
1 新聞	t/年	t/年
2 段ボール	t/年	t/年
3 飲料用紙パック	t/年	t/年
4 雑誌 ^{注1}	t/年	t/年
5 雑誌・雑がみ ^{注1}	t/年	t/年
6 雑がみ ^{注1}	t/年	t/年
7 紙製容器包装 ^{注1}	t/年	t/年
8 その他 ^{注2}	t/年	t/年
9 古紙総量	t/年	t/年

注1 4, 5, 6, 7は、貴市の分類区分に該当するものをご記入ください。
 注2 その他の分類がある場合には、分類内容を下記に記載して下さい。

分類内容

Ⅲ **行政収集** での紙製容器包装の回収方法・回収量についてお尋ねします。

問4 紙資源として紙製容器包装（段ボール・飲料用紙パックを除く、**紙箱、紙袋、包装紙、紙カップ**など）を**単独**あるいは雑がみ等との**混合**で収集していますか。次の中から該当する番号を選んで☑を付けてください。

- 1 収集している
 2 していない（以下質問5～8の回答は不要です）
（理由 _____ ）

問5 紙製容器包装の収集方法をお答えください。

- 1 単独 （紙製容器包装を単独で収集）
 2 混合 （雑がみ等の他の紙類と混ぜて収集）

問6 紙製容器包装を**単独**で回収の場合以下にお答えください。

①回収分類の名称をご記入ください
（「紙製容器包装」等、貴自治体での呼称を記入してください）

②回収量をご記入ください t/年
（本回収量には段ボール・料用紙パックを含まない）

問7 紙製容器包装を**混合**で回収の場合以下にお答えください。

①紙製容器包装と混合して回収しているものを選んで☑を付けてください（複数選択可）

- 1 新聞
 2 段ボール
 3 雑誌
 4 雑がみ（チラシ、パンフレット、コピー紙、紙箱、紙袋、包装紙など）
 5 牛乳パックなどの飲料用紙パック
 6 その他（

②混合での回収量をご記入ください t/年
（問3と同じ分類であれば、同じ回収量を記載願います。）

問8 紙製容器包装の混合回収における「回収分類の名称」をご記入ください。

（「雑誌・雑がみ」「雑がみ」等、貴自治体での呼称を記入してください。）

IV **集団回収** での紙製容器包装の回収方法・回収量についてお尋ねします。

問 9 紙資源として紙製容器包装（段ボール・飲料用紙パックを除く、紙箱、紙袋、包装紙、紙カップなど）を**単独**あるいは雑がみ等との**混合**で収集していますか。次の中から該当する番号を選んで☑を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ（以下質問10～12の回答は不要です）
（理由）

問 1 0 紙製容器包装の収集方法をお答えください。

- 1 単独（紙製容器包装を単独で回収）
- 2 混合（他の紙類と混ぜて回収）

問 1 1 紙製容器包装を**単独**で回収の場合以下にお答えください。

①回収分類の名称をご記入ください

（貴自治体での呼称を記入してください）

②回収量をご記入ください

 t/年

（本回収量には段ボール・飲料用紙パックを含まない）

問 1 2 紙製容器包装を**混合**で回収の場合以下にお答えください。

①紙製容器包装と混合して回収しているものを選んで☑を付けてください（複数選択可）

- 1 新聞
- 2 段ボール
- 3 雑誌
- 4 雑がみ（チラシ、パンフレット、コピー紙、紙箱、紙袋、包装紙など）
- 5 牛乳パックなどの飲料用紙パック
- 6 その他（

②混合での回収量をご記入ください

 t/年

問 1 3 紙製容器包装の混合回収における「回収分類の名称」をご記入ください。

（「雑誌・雑がみ」「雑がみ」等、貴自治体での呼称を記入してください）

V 紙製容器包装の紙識別マーク  についてお尋ねします。

問14 紙製容器包装を**単独**で回収の場合以下にお答えください。

- ①紙識別マークが印刷されている紙製容器包装の回収について、次のうちから選んで を付けてください
- 紙識別マークが印刷されているもの全て回収の対象としている
 - 紙識別マークが印刷されていてもプラスチック貼合せ品、アルミ箔使用品等の複合品は回収の対象にしていない
 - その他 ()
- ②紙製容器包装を分別排出するのに、紙識別マークを目安にしていますか
- 紙識別マークを目安にしている
 - 紙識別マークを目安にしていない

問15 紙製容器包装を**混合**で回収の場合以下にお答えください。

- ①紙識別マークが印刷されている紙製容器包装の回収について、次のうちから選んで を付けてください
- 紙識別マークが印刷されているもの全て回収の対象としている
 - 紙識別マークが印刷されていてもプラスチック貼合せ品、アルミ箔使用品等の複合品は回収の対象にしていない
 - その他 ()
- ②紙製容器包装を分別排出するのに、紙識別マークを目安にしていますか
- 紙識別マークを目安にしている
 - 紙識別マークを目安にしていない

VI 全体としてのコメント：紙製容器包装に係る課題や新たな取り組みがありましたらご記入ください。また、紙製容器包装識別マーク  にご意見ありましたらご記入ください。

お忙しいところご協力ありがとうございました。

3) 調査対象市区 (人口 10 万人以上)

アンケート対象市区 (2021年度調査)									
11北海道	小樽市	30東京都	世田谷区	45神奈川県	厚木市	57岐阜県	大垣市	82広島県	東広島市
11北海道	札幌市	30東京都	江東区	45神奈川県	川崎市	57岐阜県	各務原市	82広島県	廿日市市
11北海道	函館市	30東京都	北区	45神奈川県	大和市	57岐阜県	多治見市	82広島県	呉市
11北海道	帯広市	30東京都	目黒区	45神奈川県	座間市	59三重県	鈴鹿市	82広島県	広島市
11北海道	旭川市	30東京都	墨田区	45神奈川県	横須賀市	59三重県	桑名市	82広島県	尾道市
11北海道	江別市	30東京都	中央区	45神奈川県	海老名市	59三重県	津市	82広島県	三原市
11北海道	釧路市	30東京都	板橋区	45神奈川県	小田原市	59三重県	伊賀市	83山口県	山口市
11北海道	苫小牧市	30東京都	杉並区	45神奈川県	鎌倉市	59三重県	四日市市	83山口県	宇部市
11北海道	北見市	30東京都	荒川区	48埼玉県	坂戸市	59三重県	伊勢市	83山口県	下関市
17青森県	青森市	30東京都	中野区	48埼玉県	久喜市	59三重県	松阪市	83山口県	岩国市
17青森県	弘前市	30東京都	豊島区	48埼玉県	加須市	60大阪府	泉佐野市	83山口県	周南市
17青森県	八戸市	30東京都	港区	48埼玉県	春日部市	60大阪府	大阪市	83山口県	防府市
18秋田県	秋田市	30東京都	練馬区	48埼玉県	入間市	60大阪府	箕面市	85鳥取県	鳥取市
18秋田県	横手市	30東京都	品川区	48埼玉県	戸田市	60大阪府	池田市	85鳥取県	米子市
19岩手県	一関市	30東京都	渋谷区	48埼玉県	草加市	60大阪府	堺市	85鳥根県	松江市
19岩手県	盛岡市	30東京都	文京区	48埼玉県	狭山市	60大阪府	守口市	85鳥根県	出雲市
19岩手県	奥州市	30東京都	大田区	48埼玉県	ふじみ野市	60大阪府	富田林市	86岡山県	倉敷市
19岩手県	花巻市	30東京都	葛飾区	48埼玉県	熊谷市	60大阪府	高槻市	86岡山県	岡山市
22宮城県	石巻市	30東京都	台東区	48埼玉県	川越市	60大阪府	和泉市	86岡山県	津山市
22宮城県	大崎市	30東京都	江戸川区	48埼玉県	越谷市	60大阪府	門真市	87香川県	高松市
22宮城県	仙台市	42東京都	小平市	48埼玉県	新座市	60大阪府	枚方市	87香川県	丸亀市
23山形県	鶴岡市	42東京都	青梅市	48埼玉県	富士見市	60大阪府	吹田市	88高知県	高知市
23山形県	酒田市	42東京都	八王子市	48埼玉県	さいたま市	60大阪府	茨木市	88徳島県	徳島市
23山形県	山形市	42東京都	町田市	48埼玉県	上尾市	60大阪府	寝屋川市	89愛媛県	新居浜市
24福島県	福島市	42東京都	西東京市	48埼玉県	三郷市	60大阪府	大東市	89愛媛県	西条市
24福島県	会津若松市	42東京都	多摩市	48埼玉県	朝霞市	60大阪府	河内長野市	89愛媛県	今治市
24福島県	いわき市	42東京都	日野市	48埼玉県	鴻巣市	60大阪府	豊中市	89愛媛県	松山市
24福島県	郡山市	42東京都	武蔵野市	48埼玉県	川口市	60大阪府	松原市	93福岡県	飯塚市
25新潟県	上越市	42東京都	昭島市	48埼玉県	所沢市	60大阪府	岸和田市	93福岡県	春日市
25新潟県	新潟市	42東京都	三鷹市	48埼玉県	深谷市	60大阪府	東大阪市	93福岡県	福岡市
25新潟県	長岡市	42東京都	東村山市	54静岡県	島田市	60大阪府	八尾市	93福岡県	大牟田市
25新潟県	三条市	42東京都	立川市	54静岡県	沼津市	60大阪府	羽曳野市	93福岡県	糸島市
25新潟県	新発田市	42東京都	東久留米市	54静岡県	磐田市	73和歌山県	和歌山市	93福岡県	久留米市
26長野県	飯田市	42東京都	府中市	54静岡県	富士市	74滋賀県	大津市	93福岡県	北九州市
26長野県	松本市	42東京都	国分寺市	54静岡県	三島市	74滋賀県	東近江市	93福岡県	築紫野市
26長野県	上田市	42東京都	小金井市	54静岡県	浜松市	74滋賀県	草津市	95佐賀県	佐賀市
26長野県	長野市	42東京都	調布市	54静岡県	静岡市	74滋賀県	彦根市	95佐賀県	唐津市
26長野県	佐久市	43千葉県	千葉市	54静岡県	富士宮市	74滋賀県	長浜市	95長崎県	佐世保市
27群馬県	前橋市	43千葉県	習志野市	54静岡県	焼津市	74奈良県	奈良市	95長崎県	長崎市
27群馬県	桐生市	43千葉県	鎌ヶ谷市	54静岡県	藤枝市	74奈良県	橿原市	95長崎県	諫早市
27群馬県	太田市	43千葉県	八千代市	54静岡県	掛川市	74奈良県	生駒市	96熊本県	熊本市
27群馬県	伊勢崎市	43千葉県	佐倉市	55山梨県	甲府市	76石川県	金沢市	96熊本県	八代市
27群馬県	高崎市	43千葉県	我孫子市	56愛知県	江南市	76石川県	小松市	97大分県	別府市
28栃木県	佐野市	43千葉県	船橋市	56愛知県	豊田市	76石川県	白山市	97大分県	大分市
28栃木県	足利市	43千葉県	市川市	56愛知県	春日井市	76富山県	高岡市	98沖縄県	うるま市
28栃木県	那須塩原市	43千葉県	浦安市	56愛知県	小牧市	76富山県	富山市	98沖縄県	沖縄市
28栃木県	宇都宮市	43千葉県	成田市	56愛知県	半田市	77京都府	京都市	98沖縄県	浦添市
28栃木県	小山市	43千葉県	流山市	56愛知県	一宮市	77京都府	宇治市	98沖縄県	那覇市
28栃木県	鹿沼市	43千葉県	木更津市	56愛知県	名古屋市	77福井県	福井市	98宮崎県	宮崎市
28栃木県	栃木市	43千葉県	柏市	56愛知県	岡崎市	79兵庫県	西宮市	98宮崎県	都城市
29茨城県	水戸市	43千葉県	野田市	56愛知県	瀬戸市	79兵庫県	加古川市	98宮崎県	延岡市
29茨城県	つくば市	43千葉県	市原市	56愛知県	東海市	79兵庫県	川西市	99鹿児島県	霧島市
29茨城県	取手市	43千葉県	松戸市	56愛知県	西尾市	79兵庫県	三田市	99鹿児島県	鹿児島市
29茨城県	古河市	45神奈川県	横浜市	56愛知県	豊川市	79兵庫県	明石市	99鹿児島県	鹿屋市
29茨城県	土浦市	45神奈川県	平塚市	56愛知県	安城市	79兵庫県	伊丹市	99鹿児島県	薩摩川内市
29茨城県	筑西市	45神奈川県	茅ヶ崎市	56愛知県	稲沢市	79兵庫県	神戸市		
29茨城県	ひたちなか市	45神奈川県	藤沢市	56愛知県	豊橋市	79兵庫県	姫路市		
29茨城県	日立市	45神奈川県	秦野市	56愛知県	刈谷市	79兵庫県	尼崎市		
30東京都	足立区	45神奈川県	伊勢原市	57岐阜県	可児市	79兵庫県	宝塚市		
30東京都	新宿区	45神奈川県	相模原市	57岐阜県	岐阜市	82広島県	福山市		

4) 調査結果

(1) 紙製容器包装の回収量推定

		紙製容器包装量					
		単独回収 (t)	混合回収中 (t)	混合回収内訳			合計(t)
				古紙全体	雑誌・雑紙	雑紙	
2012年度調査 (2011年度実績)	行政	33,655	47,811	7,460	30,536	9,814	81,465
	集団	1,251	36,583	7,953	26,343	2,287	37,834
2013年度調査 (2012年度実績)	行政	31,659	58,477	4,806	28,452	25,219	90,136
	集団	954	29,284	2,852	23,770	2,662	30,238
2014年度調査 (2013年度実績)	行政	29,744	61,247	3,798	31,307	26,141	90,991
	集団	867	36,467	4,180	30,251	2,036	37,334
2015年度調査 (2014年度実績)	行政	28,826	65,984	4,052	31,875	30,057	94,810
	集団	615	36,667	2,636	31,833	2,198	37,282
2016年度調査 (2015年度実績)	行政	27,154	67,192	4,622	31,040	31,530	94,346
	集団	569	37,898	3,117	32,705	2,076	38,467
2017年度調査 (2016年度実績)	行政	26,926	64,815	3,719	31,144	29,953	91,741
	集団	764	37,922	2,828	33,137	1,956	38,686
2018年度調査 (2017年度実績)	行政	26,109	68,972	3,457	37,890	27,625	95,081
	集団	717	35,151	2,631	30,554	1,966	35,869
2019年度調査 (2018年度実績)	行政	25,862	66,881	2,461	34,626	29,794	92,743
	集団	712	34,657	2,511	29,283	2,864	35,369
2020年度調査 (2019年度実績)	行政	25,903	65,604	1,860	35,747	27,997	91,506
	集団	658	33,805	2,475	29,043	2,288	34,463
2021年度調査 (2020年度実績)	行政	24,706	64,495	2,375	37,722	24,398	89,201
	集団	904	33,424	2,875	28,520	2,028	34,328
2022年度調査 (2021年度実績)	行政	23,786	63,589	3,124	37,306	23,159	87,375
	集団	592	30,805	2,171	26,186	2,448	31,397

① 表中の項目の説明

■ 単独回収量

対象市区が紙製容器包装を単独で回収していると回答した紙製容器包装の回収量。容リルート及び市町村独自ルートがふくまれる。

■ 混合回収中の紙製容器包装の量

対象市区が紙製容器包装を他の物と混合で回収していると回答した回収量から当推進協議会で推定した紙製容器包装の回収量。

内訳)

ア 古紙全体

古紙全体（新聞・雑誌・雑がみ等）の回収量から算定した紙製容器包装回収量

紙製容器包装の回収量＝古紙全体のアンケート回答量×成分比

イ 雑誌・雑がみ

「雑誌・雑がみ」の回収量から算定した紙製容器包装回収量

紙製容器包装の回収量＝「雑誌・雑がみ」のアンケート回答量×成分比

ウ 雑がみ

「雑がみ」の回収量から算定した紙製容器包装回収量

紙製容器包装の回収量＝「雑がみ」のアンケート回答量×成分比

② 成分比

混合回収中の紙製容器包装の量を算定するための成分比は、組成分析調査から算定しており、行政収集の「雑誌・雑がみ」、「雑がみ」の成分比は、調査結果より 2017 年に以下のように再設定を行った。

	行政収集		集団回収
	2010実績	2017実績	2010実績
古紙全体	0.039	—	0.041
雑誌・雑がみ	0.100	0.129	0.105
雑がみ	0.430	0.404	0.428

* 「雑誌・雑がみ」行政収集の成分比は、2010 年度に更新した 0.100 を使用していたが、2010～2015 年度の「雑誌・雑がみ」行政収集の組成分析結果を反映させ 0.129 に改訂した。

* 「雑がみ」行政収集の成分比も、2010 年度に更新した 0.428 を使用していたが、2010～2015 年度の「雑誌・雑がみ」行政収集の組成分析結果を反映させ 0.404 に改訂した。

* 「古紙全体」行政収集および集団回収の成分比は、2010 年実績を継続して使用しました。

1-5 回収率算定

アンケート調査により得られた紙製容器包装の回収量から、紙製容器包装の回収率を以下のように推定した。

自主行動計画2020の目標値である回収率28%には達成できなかった。

2020年度実績：回収率26.6%（行政収集19.2% 集団回収7.4%）

		紙製容器包装 回収量 (アンケート回答)	全国回収量算出			家庭からの 年間排出 量(t)	紙製容器包装の 回収率
			アンケート対象 市区人口 (万人)	日本人口 (万人)	拡大推計 全国回収量 (t)		
2012年度調査 (2011年度実績)	行政	81,465	8,934	12,806	116,763	841,622	13.87%
	集団	37,834			53,996		6.42%
2013年度調査 (2012年度実績)	行政	90,136	8,847	12,780	130,207	841,622	15.47%
	集団	30,238			43,681		5.19%
2014年度調査 (2013年度実績)	行政	90,991	8,938	12,779	130,093	800,479	16.25%
	集団	37,334			53,378		6.67%
2015年度調査 (2014年度実績)	行政	94,810	8,949	12,714	134,698	800,479	16.83%
	集団	37,282			52,968		6.62%
2016年度調査 (2015年度実績)	行政	94,346	8,943	12,708	134,066	800,479	16.75%
	集団	38,467			54,662		6.83%
2017年度調査 (2016年度実績)	行政	91,741	8,933	12,699	130,425	743,013	17.55%
	集団	38,686			54,999		7.40%
2018年度調査 (2017年度実績)	行政	95,081	8,912	12,676	135,246	743,013	18.20%
	集団	35,869			51,021		6.87%
2019年度調査 (2018年度実績)	行政	92,743	8,917	12,676	131,836	743,013	17.74%
	集団	35,369			50,277		6.77%
2020年度調査 (2019年度実績)	行政	91,506	8,939	12,650	129,495	660,941	19.59%
	集団	34,463			48,770		7.38%
2021年度調査 (2020年度実績)	行政	89,201	8,858	12,596	126,838	660,941	19.19%
	集団	34,328			48,811		7.39%

<回収率の求め方>

回収率(%) = 拡大推計全国回収量 ÷ 家庭からの年間排出量 × 100

* 拡大推計全国回収量は、アンケート対象人口の日本人口に対する拡大比を紙製容器包装回収量(アンケート回答)に掛けて求めた。

* 家庭からの年間排出量は、当推進協議会による名古屋市の「家庭から排出される紙製容器包装の排出量調査」による。

2012年調査 : 800,479 t

2015年調査 : 743,013 t

2018年調査 : 660,941 t

2 公的機関発表の分別収集実態

2-1 紙製容器包装の分別収集実態の推移

2010年から2021年にかけての、容器包装リサイクル法に基づく分別収集計画と当該年度の分別収集実績を表に示した。

2010年から2021年にかけて、分別収集計画策定市町村数は微減傾向にあるが、実施率はおおむね横ばい状況である。分別収集においては収集量は減少傾向にあり、指定法人ルートでの再商品化に廻された紙製容器包装分別収集量は計画量の約2割以下に留まっている。

	分別収集 計画策定 市町村数	分別収集実施市町村数					
		合計		指定法人ルート		市町村独自ルート	
		件数	計画対比	件数	計画対比	件数	計画対比
2010年度	942	627	66.6	147	15.6	480	51.0
2011年度	879	613	69.7	148	16.8	465	52.9
2012年度	886	612	69.1	145	16.4	467	52.7
2013年度	897	644	71.8	147	16.4	497	55.4
2014年度	842	661	78.5	148	17.6	513	60.9
2015年度	844	684	81.0	145	17.2	539	63.9
2016年度	855	672	78.6	143	16.7	529	61.9
2017年度	899	616	68.5	145	16.1	471	52.4
2018年度	900	604	67.1	140	15.6	464	51.6
2019年度	863	612	70.9	142	16.5	470	54.5
2020年度	860	605	70.3	138	16.0	467	54.3
2021年度	860	587	68.3	139	16.2	448	52.1

	分別収集 計画量(t)	分別収集量(t)					
		合計		内訳			
		収集量 (t)	計画対比 (%)	指定法人ルート		市町村独自ルート	
収集量 (t)	計画対比 (%)			収集量 (t)	計画対比 (%)		
2010年度	161,000	93,107	57.8	28,410	17.6	64,697	40.2
2011年度	128,000	91,251	71.3	26,895	21.0	64,356	50.3
2012年度	130,000	88,698	68.2	25,581	19.7	63,117	48.6
2013年度	133,000	90,121	67.8	24,753	18.6	65,368	49.1
2014年度	132,000	82,202	62.3	23,278	17.6	58,924	44.6
2015年度	136,000	80,180	59.0	22,660	16.7	57,520	42.3
2016年度	136,000	77,307	56.8	22,195	16.3	55,112	40.5
2017年度	112,000	74,472	66.5	21,629	19.3	52,843	47.2
2018年度	114,000	75,974	66.6	20,897	18.3	55,077	48.3
2019年度	115,000	73,684	64.1	20,729	18.0	52,955	46.0
2020年度	100,000	76,080	76.1	20,274	20.3	55,806	55.8

注1) 上表の出典は、環境省HP、及び日本容器包装リサイクル協会HPである。

注2) 市町村独自ルート分については、分別収集量合計から指定法人ルート分を差引いた。

2-2 指定法人の再商品化引取量推移

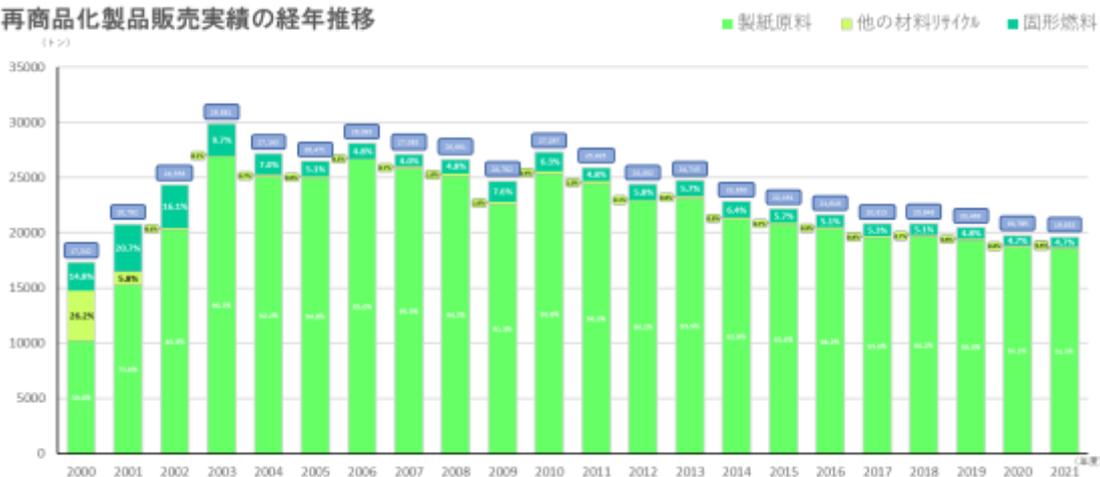
指定法人の引取量は2003年の30,652 tをピークに減少傾向が続いており、現在では約2万t程度となっております。(日本容器包装リサイクル協会HP)

引取実績量



2-3 再商品化比率 (日本容器包装リサイクル協会HP)

再商品化製品販売実績の経年推移



指定法人ルートで引き取りされた紙製容器包装の再商品化先をグラフに示した。

製紙原料化率は現在でも安定して95%前後を維持している。

製紙原料以外の材料リサイクルは当初より減少し、家畜用敷料としての用途のみとなった。

3 リサイクル実態調査

3-1 市区の取り組み状況調査（ヒアリング）

1) 調査目的

紙製容器包装を単独又は他の紙類との混合で分別収集している自治体のヒアリング調査を行い、紙製容器包装の回収状況及び課題についてヒアリング調査を行う。

2) 調査方法

2012年～2022年に31自治体（訪問回数34回）にヒアリング調査を行った。調査対象とする自治体は、各自治体のホームページ及び当推進協議会での回収方法アンケート調査結果から選定した。

<ヒアリング項目>

主に以下の内容の調査を実施した。

- 1 紙製容器包装の収集方法、収集量、
- 2 リサイクルルート（独自ルート、容リルート）現状、今後
- 3 収集後の作業（再分別など）
- 4 問屋、製紙会社における扱い（有価物又は無価物）
- 5 行政収集「雑誌・雑がみ」中の紙製容器包装調査の相談（問屋紹介など）
- 6 その他

3) 調査対象市区

対象とした自治体は以下に分類される。

- a：紙製容器包装を単独で回収している自治体（指定法人ルート）
- b：紙製容器包装を「雑がみ」と混合で回収している自治体
雑がみは、「雑がみ」「ざつがみ」「その他の紙」「ミックスペーパー」等の名称がある。
- c：紙製容器包装を「雑誌・雑がみ」と混合して回収している自治体
- d：紙製容器包装を集団回収している自治体

市区一覧を次に示す。

ヒアリング調査

市区	日程	部署	選定理由						
			行政	集団	収集分類	単独	混合	容リ	独自
浦安市	2011/10/11	都市環境部 ごみゼロ課	○	○	紙製容器包装、雑誌・雑がみ	○	○		○
千葉市	2011/10/11	環境事業部 収集業務課	○	○	雑がみ		○		○
町田市	2012/10/19	環境資源部 3R推進課	○	○	雑がみ		○		○
横浜市	2014/3/13	家庭系対策部 業務課		○	雑誌・雑がみ		○		○
川崎市	2014/3/13	環境局 生活環境部	○		ミックスペーパー		○		○
札幌市	2013/8/22	環境事業部 ごみ減量推進課、企画課	○		雑がみ		○		○
江戸川区	2015/1/22	環境部 清掃課 ごみ減量係	○	○	雑誌類		○		○
船橋市	2015/1/19	環境部 クリーン推進課	○		雑誌・雑がみ		○		○
相模原市	2015/1/21	資源循環部 資源循環推進課	○		紙製容器包装	○		○	
名古屋市	2014/9/19	ごみ減量部 資源化推進室	○		紙製容器包装	○		○	
北区	2016/1/22	生活環境部 リサイクル清掃課	○		雑がみ類		○		○
西東京市	2016/1/26	みどり環境部 ごみ減量推進課	○		雑誌・雑がみ		○		○
福井市	2015/10/8	市民生活部 環境事務所 清掃清美課	○	○	紙製容器・段ボール			○	
武蔵野市	2016/5/24	環境部 ごみ総合対策課	○		雑がみ		○		○
品川区	2017/2/6	品川区清掃事務所	○		紙箱・雑がみ		○		○
市川市	2017/2/2	掃部 循環型社会推進課	○		雑誌		○		○
相模原市	2018/2/15	資源循環部 資源循環推進課	○		紙製容器包装	○		○	
川口市	2018/2/14	環境部 廃棄物対策課	○		紙製容器包装	○			○
所沢市	2018/2/19	環境クリーン部 資源循環推進課	○	○	雑誌、雑がみ		○		○
墨田区	2019/2/12	都市整備部 環境担当	○	○	雑誌・雑がみ		○		○
柏市	2019/2/20	環境部 廃棄物政策課	○		雑誌・雑がみ		○		○
大和市	2019/2/4	環境農政部 収集業務課	○		紙製容器包装	○		○	
小平市	2020/2/4	環境部 資源循環課	○	○	雑誌・雑がみ		○		○
横須賀市	2020/2/20	資源循環部 リサイクルプラザ		○	雑誌・雑紙		○		○
川越市	2020/2/12	環境部 資源循環推進課	○	○	雑誌類		○		○

市区	日程	部署	選定理由						
			行政	集団	収集分類	単独	混合	容リ	独自
豊島区	2021/2/10	環境清掃部 ごみ減量推進課	○	○	厚紙の箱、包装紙		○		○
葛飾区	2021/3/19	環境部 リサイクル清掃課	○	○	雑誌・雑がみ		○		○
海老名市	2021/2/9	経済環境部 環境課	○		ミックスペーパー		○		○
秦野市	2022/1/13	環境産業部 環境資源対策課	○	○	その他の紙		○		○
川崎市	2022/1/21	環境局 生活環境部 廃棄物政策担当	○	○	ミックスペーパー		○		○
さいたま市	2022/2/10	資源循環推進部 廃棄物対策課	○	○	その他の紙		○		○
佐倉市	2023/2/7	環境部 廃棄物対策課	○		紙製容器包装	○		○	
立川市	2023/2/20	環境下水道部 ゴミ対策課	○	○	雑誌・雑がみ		○		○
名古屋市	2023/2/27	環境局 ごみ減量部 資源化推進室	○		紙製容器包装	○		○	

ヒアリング結果

2022年度		佐倉市（千葉県）	立川市（東京都）	名古屋市（愛知県）
回収方式		容リルート	古紙ルート	容リルート
分類名		「紙製容器包」	「雑誌・本・雑がみ」	「紙製容器包装」
混合回収量		行政 405 t	行政 2,748 t 集団 13 t	行政 8,288 t
分別収集	分別対象	紙製容器包装	雑誌・雑がみ	紙製容器包装
	対象外	汚れがひどいもの、においがついたもの	臭いがついた紙、汚れている紙、防水加工された紙、写真感熱紙・カーボン紙など	食品残渣付着品、和紙、感熱紙、カーボン紙、圧着はがき、写真、シールガムテープ、紙コップ（コップ自体が製品）
排出方法		「その他紙製容器包装」として指定のごみ収集袋に入れて集積所へ出す。	識別マークで分類せず、雑誌や本に挟んで紐で束ねるか、紙袋に入れてまとめて出す。	「その他紙製容器包装」として指定袋で資源ステーションに出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	古紙業者がパッカー車で収集している（落札と保管の業者が異っている）。	行政収集はパッカー車にて戸別回収。集団回収の登録団体は約250～300。	資源ステーションで週1回収する。2023年4月から「紙製容器包装」と「雑がみ」を混合回収する。
	その他	「紙製容器包装」で長年収集し「容リルート」の信頼大。	プラスチックの混合回収に向けて処理工場を改装しており、2025年より導入予定。	従来の回収ルートを流用し、雑がみ混合して回収する。2024年4月よりプラ製品も容器包装と一括収集する。

2021年度		秦野市（神奈川県）	川崎市（神奈川県）	さいたま市（埼玉県）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「その他の紙」	「ミックスペーパー」	「その他の紙」
混合回収量		行政 421 t 集団 7 t	行政 10,562 t 集団 36 t	行政 10,356 t 集団 1,389 t
分別収集	分別対象	雑がみ	雑がみ	雑誌・雑がみ
	対象外	汚れ・臭いの取れないもの、シール、写真など	汚れ・臭いの取れないもの	臭いのついたもの、感熱紙、カーボン紙、圧着はがき、写真、シール、銀紙、紙コップ(防水加工)、汚れのひどいもの
排出方法		「その他の紙」として紐で束ねるか、紙袋に入れて出す。	「ミックスペーパー」として回収（「新聞」、「雑誌」、「段ボール」、「牛乳パック」などは集団回収）。	紐で束ねるか紙袋に入れて出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	古紙業者が各地区に毎週1回平ボディ車で収集しており、複合素材（アルミ付き含む）も一緒に回収している。	行政収集業者は一社のみにて委託しており、バッカー車で回収。	4業者（旧4市区）での分担を継続している状況。回収は平ボディ車。
	その他	「紙箱」から回収を開始、2017年に「その他の紙」分類に移行。焼却炉の老朽化のため、資源化可能物の抽出が課題。	「ミックスペーパー」の分別率（総量中の資源化量）が、35%から30%程度に低下し、埋立地の延命化と併せて課題。	市区が合併して20年経過し、収集も定着、課題やトラブル等はない。人口が微増であることも回収量増加の要因か。

2020年度		海老名市（神奈川県）	豊島区（東京都）	葛飾区（東京都）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「ミックスペーパー」	「厚紙の箱」「包装紙」	「雑紙」
混合回収量		行政 1,729 t	行政 76 t 集団 566 t	行政 3,312 t 集団 1,389 t
分別収集	分別対象	雑がみ	紙製容器包装の一部、雑がみ	雑誌・雑がみ
	対象外	防水加工、緩衝材貼合、アルミ箔貼合、シール類、汚れ付着、臭い付着	シュレッダーごみ、ラミネート加工、感熱紙、卵パック等、汚れ付着、臭い付着	防水加工、カーボン紙、感熱紙、圧着はがき、アルミ付き、シュレッダー紙、汚れ付着、臭い付着
排出方法		「ミックスペーパー」として紐で束ねるか紙袋に入れて出す。	厚紙の箱類は紐で束ねるか紙袋に入れて、その他雑がみはコピー用紙などと一緒に束ねるか紙袋で出す。	厚紙の箱類は紐で束ねるか紙袋に入れて、その他雑がみはコピー用紙などと一緒に束ねるか紙袋で出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	古紙業者が各地区に毎週1回直接収集しており、2018年9月より戸別収集へ移行した。	古紙業者が各地区に毎週1回平ボディ車で回収している。	古紙業者数社が分担して、各地区に週1回平ボディ車で回収している。処理業者は一社一括にて管理している。
	その他	家庭ごみ一部有料化した結果、「燃やせるゴミ」の総量は減少しており、その分回収量が増加したと思われる。	処理業者からの提案により、容リルートでの申し込みをした。繁華街回収を3年前より開始し、区がSDGs未来都市として選定された。	回収方法・ルートは変わらず、課題・トラブル等はない。人口は微増で、分別方法に関しては、英語、韓国語、中国語版を準備している。

2019年度		小平市（東京都）	川越市（埼玉県）	横須賀市（神奈川県）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「雑誌（本）・雑がみ」	「紙類」	「その他の紙」
混合回収量		行政 3,645 t 集団 563 t	行政 1,758 t 集団 1,675 t	集団 1,166 t
分別収集	分別対象	雑誌、雑がみ	雑がみ	雑がみ
	対象外	紙コップ（防水加工）、カーボン紙、感熱紙、写真、金銀箔、プラスチック合成紙、汚れ付着、臭い付着	感熱紙・カーボン紙、圧着はがき、シール台紙、写真、表面コート紙、カップ麺容器、シュレッターくず、汚れた紙	感熱紙、金・銀紙、ビニール加工紙、アルミ付き紙パック、シュレッターくず等
排出方法		紙袋または大きな紙で包装し、雑誌と一緒に出す	紙袋または大きな紙で包装し、雑誌と一緒に出す。	紙袋または大きな紙で包装し、雑誌と一緒に出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	行政回収は紙問屋によりパックカー車で、1回/2週間の頻度で各地区を巡回する。	行政回収は1回/月。種類ごとに回収。集団回収業者は減少傾向。報奨金¥6/kg。	集団回収し資源回収協同組合で運搬、リサイクルプラザで中間処理。業者に¥10/kgの奨励金を支払う。
	その他	昨年プラスチック等の有料化と戸別回収に切り替えた。周知徹底のため数年前より対応したが、トラブルは発生した。	国際系大学の増加で、ゴミ出しパンフレットは7ヶ国語に対応。従来よりシステム変更が無く、問い合わせ等もない。	紙を扱う業者は6社で減少傾向にはある。来年は業者から回収困難との要望があり、奨励金を¥12/kgにする。

2018年度		大和市（神奈川県）	墨田区（東京都）	柏市（千葉県）
回収方式		容リルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「紙製容器包装」	「雑誌・雑がみ」	「雑誌・雑がみ」
混合回収量		行政 902 t	行政 837 t 集団 1,134 t	行政 4,989 t
分別収集	分別対象	紙の識別マークの付いた紙製容器包装	雑誌、雑がみ	雑誌、雑がみ
	対象外	紙以外、付着物のあるもの。	粘着テープ付着、アルミ付き紙パック、汚れ・臭い付着、特殊加工、シュレッターくず、防水加工等	感熱紙、金・銀紙、ビニール加工紙、アルミ付き紙パック、シュレッターくず等。
排出方法		市内約1,000箇所の回収所で、市の専用コンテナにバラにして入れる。	紙袋または大きな紙で包装し、雑誌と一緒に出す。	雑がみとして紐で束ねるか紙袋に入れて出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	市民が分別排出したものを、フレコンパックに詰め、古紙業者が直接回収している。	行政収集は、民間委託で荷台分別する。集団回収は386団体。町会や子供会等。	7,641箇所のステーション回収。平ボディ車に積み、中間集積所へ運ぶ。
	その他	10年前に検討した「戸別回収」は断念。ゴミの持ち去り問題を警察とタイアップし対応。他の紙一般との分別を市民へ説明・理解を得るのは難しい。	容リルートはコスト高となるため実質的には未検討。分別方法の冊子を作成。可燃ごみ中におよそ40%の紙製容器包装が含まれ、資源化は未実施。	容リルートは回収方法を大幅に変えるため、市民への負担と費用面から困難。紙製容器包装も機能、材質面で多様化し、指導にも苦勞している。

2017年度		相模原市（神奈川県）	川口市（埼玉県）	所沢市（埼玉県）
回収方式		容リルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「紙製容器包装」	「紙製容器包装」	「雑誌・雑がみ」
混合回収量		行政 3,823 t	行政 738 t	行政 1,111 t 集団 3,222 t
分別収集	分別対象	紙の識別マークの付いた紙製容器包装	紙の識別マークの付いた紙製容器包装	雑誌、雑がみ
	対象外	銀紙、粘着テープ、油紙、写真、防水加工紙、感熱紙、感熱発泡紙、カーボン紙、シュレッダー紙、ティッシュペーパー、圧着葉書、昇華転写紙	紙マークのついていない手紙やダイレクトメール、汚れのひどいもの	昇華転写紙、圧着葉書、カーボン紙、金紙・銀紙、写真、シュレッダーにかけた紙、せっけん・洗剤の箱、防水加工紙、感熱紙、汚れた紙など
排出方法		紙の識別マークを基準に判断、直接ひもでしぼるか、紙袋に入れて出す。	紙の識別マークを基準に判断、直接ひもでしぼって出す。	封筒、紙袋に入れたり、雑誌の間に挟んでからしぼって出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	市民が分別排出したものを、古紙業者が委託回収している。	市民が識別マークで分別排出したものを、市が回収・分別している。	識別マークを目印として回収は行っていない。
	その他	識別マークは大きくしてもらいたい。紙製容器包装の識別マークに対する市民の認知度が高く、市民がしっかりと分別している。	他の紙資源との区別が判りにくい。新聞、テレビ等のメディアで、識別マークを一般市民に認知させる広報活動を行ってほしい。	複合品は必ずしもリサイクルに適する紙資源とならない。全量資源ごみになるようにしてほしい。

2016年度		武蔵野市（東京都）	品川区（東京都）	市川市（千葉県）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート	古紙ルート
分類名		「雑がみ」	「紙箱・雑がみ」	「雑誌」
混合回収量		行政 3,828 t	行政 46 t	行政 3,078 t
分別収集	分別対象	雑誌、雑がみ	雑がみ	雑がみ
	対象外	ビニールコート紙、アルミ加工された紙、臭いの付いた紙や箱、プラスチック、アルミとの複合品	汚れた包装、防水加工紙、カーボン紙、アルミ箔やプラスチックフィルムと貼りあわせた複合素材	汚れた紙製容器、カーボン紙、臭いの付いた紙や箱、アルミ箔やプラスチックフィルムと貼りあわせた複合素材
排出方法		各分類毎にしぼって出す。雑がみは、透明袋や紙袋に入れて出す。	雑がみはひもでしぼるか、紙袋に入れて出す。	雑がみは、紙袋に入れるか、ひもで十字にしぼって出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	拠点回収でアルミ付紙パックを回収している。	識別マークをもとに分別する場合、新たな人件費が必要となり、識別マークを目印に回収は行っていない。	識別マークを目印に、回収は行っていない。
	その他	古紙として回収できないもの（市の禁忌品）には別マークをつけてほしい。	古紙回収業者（製紙メーカー）が受け入れ可能な・識別マークを設定してほしい。高齢者にも分かりやすく、大きくしてほしい。	識別マーク品が、全てを古紙として回収できるマークをつけてほしい。

2015年度		北区（東京）	西東京（東京）	福井市（福井県）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート（6市広域回収）	古紙ルート
分類名		「雑がみ類」	「雑誌・雑がみ」	「紙製容器・段ボール」
混合回収量		行政 2,386 t	行政 3,925 t	行政 896 t
分別収集	分別対象	紙の識別マークの付いた紙製容器包装	紙の識別マークの付いた紙製容器包装	雑誌、雑がみ
	対象外	プラスチック、アルミとの複合品、臭い・汚れのあるもの等	臭いのあるもの、汚れ品	食品付着等の汚れ品
排出方法		雑誌は縛って、紙箱等は紙袋に入れて出す	紙製容器包装・雑がみは紙袋に入れて出す	紙箱は段ボールに挟む 小箱は紙袋に入れる
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	紙資源の分別収集の徹底を進めている。	近隣6市が再資源化事業協同組合と提携し古紙類の資源化を進めている。	紙箱と段ボールを同一分類にしたのは市民がわかり易いため。雑がみ回収は集団回収で開始した。
	その他	識別マークを分けることに賛成。定期的に分別の説明会を行っており、市民への説明及び収集コストも対応可能。	複合品を一部を除き集めているので、マークを分ける必要はない。	現在紙マークを目安にして回収している。対象外の複合品が混入するのを防げる方法があればいいと考えている。

2014年度		江戸川区（東京）	船橋市（千葉県）	相模原市（神奈川県）	名古屋市（愛知県）
回収方式		古紙ルート	古紙ルート	容リルート	容リルート
分類名		「雑誌類」	「雑誌・雑がみ」	「紙製容器包装」	「紙製容器包装」
混合回収量		行政 2,670 t 集団 2,515 t	行政 5,393 t	行政 3,482 t	行政 8,385 t
分別収集	分別対象	雑誌、食品等の紙箱、包装紙、紙小物（ハギキ、パン等）。紙マークは目安にしない	紙製容器包装は雑誌に挟んで出す	紙マークの付いた紙製容器包装	
	対象外	プラスチック、アルミと紙の複合品、防水コート品、臭い・汚れのあるもの等		食品付着等の汚れのあるもの	
排出方法		紙製容器包装は雑誌と一緒に縛る	紙製容器包装は雑誌に挟んで出す	紙袋に入れてひもで縛って出す。	市指定のプラ袋に入れて出す。
意見交換・他	紙製容器包装の回収の取組	燃やすごみの減量のため、燃やすごみ中の11%を占める紙資源の回収に取り組んでいる	平成33年までに、リサイクル率25%以上達成の目標があり、資源回収の促進を進めている。	容リルートで紙マーク付き紙製容器包装を回収。政令都市となり、容リルートへ。	容リルートで紙マーク付き紙製容器包装を回収。埋立地の逼迫から、容リルートへ。
	その他	識別マークを分けることに賛成。定期的に分別の説明会を行っており、市民への説明及び収集コストも対応可能。	複合品を一部を除き集めているので、マークを分ける必要はない。	現在紙マークを目安にして回収している。対象外の複合品が混入するのを防げる方法があればいいと考えている。	現在紙マークを目安にして回収している。対象外の複合品が混入するのを防げる方法があればいいと考えている。

2013年度	札幌市（北海道）	横浜市（神奈川県）	川崎市（神奈川県）	
回収方式	混合	混合	混合	
分類名	「雑がみ」	「雑誌・雑がみ」	「ミックスペーパー」	
混合回収量	行政 25,559 t	集団 81,331 t	行政 10,622 t	
分別収集	雑誌、雑がみ	雑がみ	雑がみ	
ごみ行政	ごみ減量計画目的	ごみ減量推進計画 2017年迄にごみ30%削減 リサイクル30%以上 発生抑制・資源化推進 清掃工場縮小	一般廃棄物処理計画 2025年度迄、ごみと資源10% 以上削減、温暖化ガス50%以上 削減	「埋立地の延命化」「焼却施設 の効率的稼働」「環境負荷の低 減」を目指し資源物回収を促進 焼却施設の縮小
	対策	雑がみ分別収集 家庭ごみ有料化 普及啓発・環境教育	集団回収全面实施 集団回収 自治体支援	「ミックスペーパー」分類で全 ての紙を回収 資源ごみ回収頻度増加
識別マーク関連 意見交換その他	紙製容器包装全て対象のため、 区別表示は必要ない。 また区別表示が制定されても、 B市には影響は無い。	禁忌品を設けており区別表示 に賛成	紙マーク付きを全て集めている ので区別表示の必要性は感 じない。 また区別表示が制定されても、 D市には影響は無い。	

2012年度	千葉市（千葉県）	町田市（東京）	浦安市（千葉県）	
回収方式	混合	混合	混合	
分類名	「雑がみ」	「雑がみ」	「雑誌・雑がみ」 「紙製容器包装」（拠点）	
混合回収量	行政 7,678 t 集団 4,325 t	行政 6,203 t 集団 4,157 t	行政（一般） 896 t （拠点） 9 t 集団 1,099 t	
ごみ行政	ごみ減量	一般ごみの減量 焼却ごみ1/3削減	一般ごみの減量	一般ごみの減量、可燃ごみ中の 紙資源回収（10%）
	対策	雑がみ分別収集 ごみ有料化	ごみ有料化 出前授業に注力	ビーンズ計画（静脈から動脈に 循環）での4R
識別マーク関連 意見交換その他	回収対象物と識別マークは一致し ておらず、一般市民が回収物か 否かの判断が困難であり、改善 の要望がある。 雑がみの品質確保が必要。	回収に識別マークが使用できな い。紙容器回収の市民への啓発 が困難・雑がみ回収での先進事 例を知りたい。	回収に識別マークが使用できな い。紙製容器包装への意識付け が不十分（単独回収は意識付け のため）。	

VI リデュース・リサイクル推進のための事例研究と啓発

1 事例研究

1-1 「3R改善事例集」による3R推進と情報発信

1) 応募方法

- ・会員企業・団体に事例募集案内“「紙製容器包装 3R改善事例集」事例提供のお願い”をお送りし募集をおこなった。

2) “紙製容器包装の3R改善《該当事項分類表》”

紙製容器包装の3R改善《 該当事項分類表 》

3Rの種別	内容の大別	各事項の内容説明	応募用紙 記入番号
★リデュース	❖軽量化	▶用紙坪量(g/m ²)をゲージダウン(嵩高紙の使用や強度UPなど)。	<1>
		▶箱形状、糊代形状などの工夫でカートンブランクを縮寸。	<2>
		▶包装方法の変更(「箱→包装紙へ変更」など)による軽量化。	<3>
		▶その他の軽量化。	<4>
	❖小型化	▶詰め合わせ方法や配列の工夫による小型化。	<5>
		▶内装材(中仕切・緩衝材など)の工夫による小型化。	<6>
		▶その他の減容小型化。	<7>
	❖簡素化	▶従来包装構成要素、装飾部材などの削除、簡素化。 (「外箱」、「包装紙」、「マルチパック」、「のし紙」、の廃止など)	<8>
		▶複数の容器包装の統廃合(多重包装を減らす)。 (土産商品、詰め合わせギフト商品の過大・過剰包装の改善など)	<9>
		▶その他の簡素化。	<10>
	❖商品の改善	▶中身の改善により容器包装の軽量化・小型化・簡素化が可能になった。	<11>
	❖その他		<12>
★リユース	❖再使用	▶使用後の別用途として再使用。	<13>
	❖詰め替え	▶紙製詰め替え容器の採用。	<14>
	❖その他		<15>
★リサイクル	❖紙化・ 紙単体化	▶枯渇性資源から再生可能資源への切替。(「プラ→紙」など)	<16>
		▶紙とプラなどとの複合容器を紙単体へ切替、易リサイクル化を図った。 (「取り出し口のフィルムをなくしたティッシュボックス」など)	<17>
	❖容易化	▶廃棄時点での減容化を可能に。(「折り畳み罫線の付与」など)	<18>
		▶易分離、易解体化を図り、紙のリサイクルを可能に。 (「バッグ・イン・ボックスカートン」、「易剥離ラベル」など)	<19>
		▶表面処理(箔、フィルム貼⇒印刷)、脱墨性向上などで易リサイクル化。 (「箔⇒金、銀インキ」、「光沢フィルム⇒光沢印刷」、「大豆インキ」など)	<20>
		▶その他の易リサイクル化。	<21>
	❖リサイクル システム	▶リサイクルルートの構築。	<22>
❖その他		<23>	
★その他の 環境配慮	❖再生可能資源	▶リサイクル素材の使用。(「100%再生紙の利用」、「白紙→茶紙」など)	<24>
	❖環境負荷軽減	▶LCA、LCIにより環境負荷低減効果が証明できる。	<25>
	❖森林認証	▶「FSC認証紙」、「PEFC認証紙」の使用、「間伐材マーク」の表示など。	<26>
	❖その他		<27>

3) 各年度の3R事例集

年度	事例数				編集内容
	リデュース	リユース	リサイクル	その他	
2012年度	18	1	9	5	2012・2011・2010の合本
2013年度	18	2	7	3	1部 2013年度事例 2部 設計手法別分類(3Rの取組)
2014年度	24	3	6	4	1部 2014・2013の合本 2部 環境配慮設計の考え方・事例
2015年度	15	0	5	3	1部 2015・2014・2013の合本 2部 環境配慮設計の考え方
2016年度	22	2	4	2	1部 2016年度事例 2部 設計手法別分類(3Rの取組)
2017年度	21	1	3	9	1部 2017・2016の合本 2部 食品ロス削減
2018年度	12	2	7	8	1部 創立20周年の歩み 2部 2018・2017・2016の合本
2019年度	11	2	5	13	1部 2019年度事例 2部 設計手法別分類(3Rの取組)
2020年度	22	2	4	8	1部 2020・2019の合本
2021年度	14	4	3	16	1部 2021年度事例 2部 設計手法別分類
2022年度	9	1	13	11	1部 2022・2021の合本
計	186	20	66	82	





4) 3 R 事例集活用事例

3 R改善事例集は毎年12月に発行し、行政、自治体、消費者、市民団体及び会員企業・団体等に配布し、活用いただいている。環境省審議会（中央環境審議会）での事業者取組みに関する資料として環境省HPに掲載された。

<利用状況（配布先）>

- ・行政（経済産業省、環境省、農林水産省等関連5省庁）
- ・自治体
 - 回収状況調査に協力いただいた人口10万人以上の全国市区
- ・NPO、市民団体
- ・報道関係（フォローアップ報告会にて）
- ・一般消費者、自治体
 - 「容器包装3R推進フォーラム」「容器包装3R連携市民セミナー」及び展示会（エコプロダクツ展）において配布
- ・3R推進団体連絡会
- ・会員企業、会員団体

1-2 紙製容器包装の軽量化実態調査

1 本調査実施の主旨

紙製容器包装において、既に自主行動計画を策定し、3R推進の進捗を報告しており、事業者の役割が大きい「リデュース(紙使用量の削減)」については、「紙器用板紙」や「包装紙」の国内出荷量をベースに総量での削減率(2004年度基準)を採用し、概ね使用量の削減が図られている状況が理解されていますが、景気の変動による要因などで、具体的な取り組み効果が見えにくく、他素材同様に原単位を設定すべきとの指摘があります。

本調査では、段ボールや飲料用紙容器の原単位の考え方と同様に、主に紙器製造に使用されるコートボールの坪量軽量化の実態を、2011年調査(2004年度、2006年度、2008年度、2010年度)及び2017年調査(2012年度、2014年度)の過去2回の調査に続いて実施することで、個別商品の3R改善事例とセットで、容り法に係わる各主体に、紙製容器包装の事業者の取り組みをアピールすることを目的とします。

2 調査方法

調査の対象：コートボール の入荷量

(カード紙、液体紙容器原紙、カップ原紙などは、今回の対象外。)

調査対象年度：2012年度、2014年度、2016年度、2018年度、2020年度 (※暦年でも可)

対象事業所：対象品の入荷数量集計可能な、全社、又は、代表工場。

※代表工場は、各社での紙製容器包装のメイン工場でお願いします。

3 調査結果

1) 集計方法

回答いただいた9社の総重量、総面積を年度毎に集計し年度毎の平均坪量を算出した。

2) 結果

①平均坪量及び総重量の推移

今回までの調査(2004年度～2020年度)にてご協力いただいた9社のデータを元に、平均坪量の変化を比較しました。

- ・2004年度の平均坪量を100とした場合、今回までの調査(2004年度～2020年度)では16年間で3.5%の減少になりました。

今回のアンケート調査を実施したコートボールの総重量は約24万トンであり、紙器用板紙全体量(約136万トン)の約18%のカバー率となりました。

図1 坪量・総重量・総面積推移

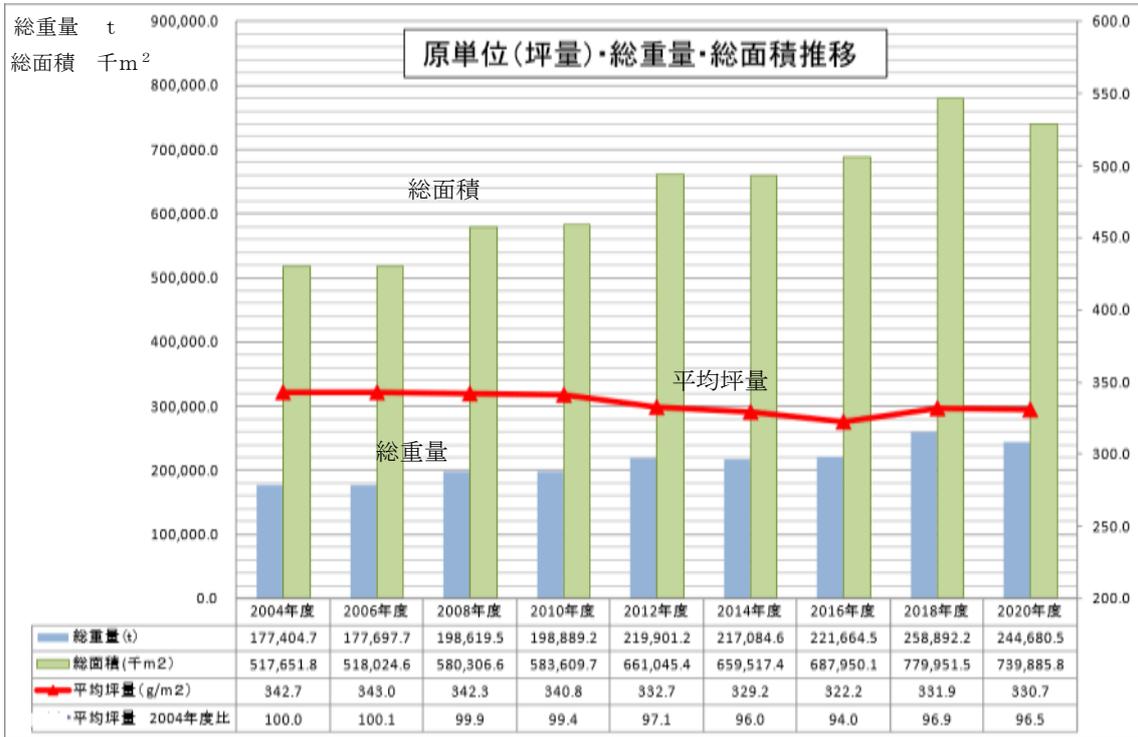


図2 2004年度比の推移



②各坪量ごとの使用量推移

各坪量ごとにも使用量の回答をいただきました。

本調査では前回（2017年度時点）同様8社の協力を得て、各坪量の使用率推移の変化を比較しました。

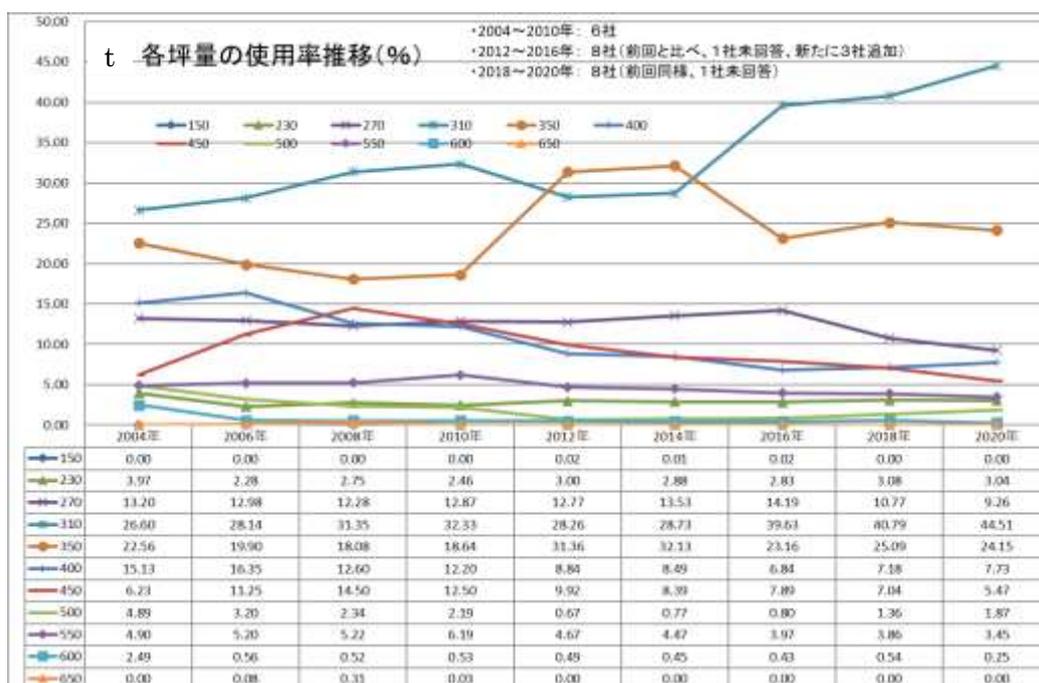
年度により会社数が異なり、総重量が増加傾向にありますので、単純な使用量の比較ではなく、調査年度における各坪量の使用率をプロットし比較しました。

また、経年毎の各坪量の使用率の推移も同時にプロットいたしました。

坪量の大きい、坪量400g/m²以上は減少傾向にあり、特に坪量400g/m²は顕著に減少しております。坪量の小さい310、350g/m²は増加傾向にあり、特に310g/m²は急激に増加しております。

よって、全体的な傾向として、坪量の大きい紙から小さな紙へ標準規格が移行していると推測され、原単位（坪量）が減少傾向にあると推察されました。

図3 各坪量の使用量推移



2 啓発

2-1 当推進協議会パンフレットの更新

2009年度に更新したパンフレット「紙製容器包装のリサイクルについて」を、2016年度に、紙製容器包装のリサイクルのデータ、3R取り組み事例、紙製容器包装リサイクル推進協議会の事業内容を更新した。

更新内容

- ・紙製容器包装のリサイクル
- ・3R取り組み事例
- ・紙製容器包装リサイクル推進協議会とは（事業内容）

今回3,000部を作成し、会員団体、会員企業、行政、市町村、審議会、セミナー、展示会、市民団体、報道関係などに約2,000部配布した。



2-2 エコプロ展に出展

2005年に、容器包装リサイクル協会、その他プラスチック容器包装リサイクル推進協議会と当推進協議会の3者共同でエコプロダクツ展に出展したのを最初に、2012以降も出展し紙製容器包装、プラスチック容器包装のリサイクル促進をメインテーマとし、各年度趣向をこらしたイベントを盛り込んで、リサイクルの学習・体験によりリサイクルの大切さ、必要性を学びとってもらった。

各年度のテーマ・出展内容・来場者数などを以下に示す。

①2012年度

実施時期：2012年12月13日～15日

会場：東京ビッグサイト東展示場

テーマ：「明るい未来を創る工場

Recycle Factory」

- 出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル手法・工程及びリサイクル商品
- ・パネル展示「紙製容器包装とは、製紙原料へのリサイクル」
 - ・ギミック展示「RPFのできるまで」及びクイズ大会

来場者数：約2,594名



②2013年度

実施時期：2013年12月12日～14日

会場：東京ビッグサイト東展示場

テーマ：「明るい未来を創る工場

Recycle Factory」

- 出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル手法・工程及びリサイクル商品
- ・パネル展示「紙製容器包装とは、製紙原料・PRFへのリサイクル」、「紙製容器包装のリサイクルシステム」
 - ・サンプル展示ー身近な紙製容器包装から、古紙パルプが作られ、再商品

化製品が作られるまでの一連のサンプルを展示した。

来場者数：約3,000名



③2014 年度

実施時期：2014 年 12 月 11 日～13 日

会 場：東京ビッグサイト東展示場

テ ー マ：「容器包装のリサイクル工場の見学」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル手法・
工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示「紙製容器包装とは」、
「製紙原料・RPFへのリサイクル」
- ・ギミック展示「紙製容器包装から
ダンボールのできるまで」



④2015 年度

実施時期：2015 年 12 月 10 日～12 日

会 場：東京ビッグサイト東展示場

テ ー マ：「楽しく学ぼう容器包装のリサイ
クル」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル
手法・工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示「紙製容器包装とは」、
「製紙原料・RPFへのリサイクル」、
「紙製容器包装のリサイクルシステム」

・サンプル展示ー身近な紙製容器包装から古紙パルプ、再商品化製品が作られるまでの一連のサンプルを展示した。



⑤2016 年度

実施時期：2016 年 12 月 8 日～10 日

会 場：東京ビッグサイト東展示場

テ ー マ：「楽しく学ぼう容器包装 3 R」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル
手法・工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示：紙製容器包装とは、紙製
容器包装のリサイクルシステム
- ・サンプル展示：身近な紙製容器包装から
古紙パルプが作られ、再商品化製品が
作られるまでの一連のサンプルを展示した。



⑥2017 年度

実施時期：2017 年 12 月 7 日～9 日

会 場：東京ビッグサイト東展示場

テ ー マ：「楽しく学ぼう容器包装 3 R」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル
手法・工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示：紙製容器包装とは、紙製容器包装のリサイクルシステム
- ・サンプル展示：身近な紙製容器包装から古紙パルプが作られ、再商品化製品が作られるまでの一連のサンプルを展示した。



⑦2018 年度

実施時期：2018 年 12 月 6 日～8 日

会 場：東京ビッグサイト東展示場

テ ー マ：「楽しく学ぼう容器包装 3 R」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル手法
・工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示：紙製容器包装とは、紙製容器包装のリサイクルシステムを展示しました。
- ・サンプル展示：身近な紙製容器包装から古紙パルプが作られ、再商品化製品が作られるまでの一連のサンプルを展示しました。



来場者数：約 3,094 名

⑧2019 年度

実施時期：2019 年 12 月 5 日～9 日

会 場：東京ビッグサイト西展示場

テ ー マ：「楽しく学ぼう容器包装 3 R」

出展内容：紙・プラ容器包装のリサイクル
手法・工程及びリサイクル商品

- ・パネル展示：「紙製容器包装とは」、「紙製容器包装のリサイクル」を展示しました。
- ・サンプル展示：身近な紙製容器包装から古紙パルプが作られ、再商品化製品が作られるまでの一連のサンプルを展示しました。



⑨2020 年度 (Online 開催)

実施時期：2020 年 11 月 25 日～28 日
(アーカイブ 11 月 29 日～12 月 25 日)

テーマ：「持続可能な社会の実現に向けて」

出展内容：他の 7 素材とともに 3 R 推進
団体連絡会として出展。

- ・ 動画「紙製容器包装リサイクルの流れ」、「分別排出のルール」
- ・ ダウンロード「紙製容器包装のりさいくるについて」パンフレット

来場者数：約 1,502 名



⑩2021 年度

実施時期：2021 年 12 月 8 日～10 日

会場：東京ビッグサイト東展示場

テーマ：「持続可能な社会の実現に向けて」

- ・ 動画「紙製容器包装から段ボールが出来るまで」
- ・ パネル展示 (紙製容器包装とは)、
- ・ サンプル展示 (古紙パルプ～再商品化製品)



⑪2022 年度

実施時期：2022 年 12 月 7 日～9 日

会場：東京ビッグサイト東展示場

テーマ：「持続可能な社会の実現に向けて」

- ・ 動画「紙製容器包装から段ボールが出来るまで」
- ・ パネル展示 (紙製容器包装とは)、
- ・ サンプル展示 (古紙パルプ～再商品化製品)



Ⅶ 全体のまとめ

1 紙製容器包装のマテリアルフロー

当推進協議会においてリサイクル実態調査を行い得られた調査結果を用い、国、関連団体の公表データも参照して、紙製容器包装のマテリアルフローを検証した。

2021 年度実績データでの紙製容器包装のマテリアルフローを図に示した。

紙製容器包装の原紙となる紙・板紙の出荷量は、2021 年度紙パルプ統計から推計した。統計データから、包装紙の原紙となる包装用紙の国内出荷量は 831 千トン（紙・板紙全体の 3%）であり、そのうち業務用となる重袋クラフト出荷量を差し引き、輸出入を見込んだ 261 千トンを一般家庭用向けの包装用紙と推計した。

紙器用の原紙となる紙器用板紙の国内出荷量は 1,501 千トン（紙・板紙全体の 6%）であり、そのうち紙器用ではない印刷書籍の表紙などを差し引き、輸出入を見込んだ 1,442 千トンを一般家庭用向けの紙器用板紙と推計した。

したがって紙製容器包装用原紙の国内出荷量の総計は 1,703 千トンであり、2004 年度比 18.8%削減となり、自主行動計画 2025 の初年度の結果としてフォローアップ報告会に報告した。

この紙製容器包装用原紙から、容器包装リサイクル法の対象となる容器包装及び容器包装リサイクル法の対象外の容器包装（自販機用・コーヒーショップ用などの事業系一般廃棄物紙製容器、景品など中味が商品でないものの容器包装、商品として販売される紙製容器包装など）が製造され利用されている。また、紙製容器包装を製造する過程において排出される事業系廃棄物（紙・板紙の端材、巻取り残紙、打抜き残紙など）は回収され再資源化されている。

容器包装リサイクル法の対象となる紙製容器包装入り商品を消費者が購入し、使用後一般家庭から排出される量は、従来の当推進協議会による独自調査（名古屋市中でのモニター調査）から産構審で発表される業種全体の紙製容器包装の「排出見込量」に変更し、リサイクル対象となる全国の家から排出される容リ法対象の紙製容器包装の量は 842 千トンとした。

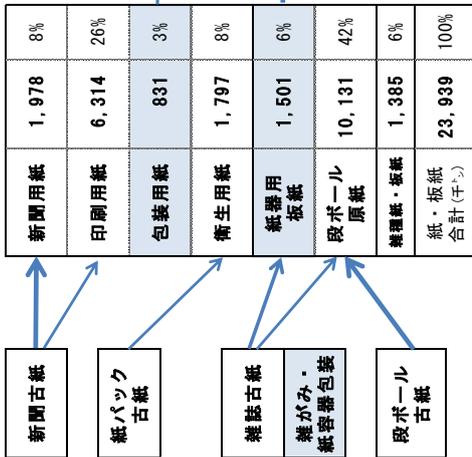
行政収集及び集団回収により紙製容器包装が回収されている量は、容リルート及び古紙ルートの合計で 152 千トンと推計された。本回収量は、人口 10 万人以上の市区に対して紙製容器包装回収量のアンケート調査により得られた結果である。古紙ルートでは「雑がみ」「雑誌・雑がみ」分類での回収量の回答であり、この分類中での紙製容器包装の量は当推進協議会調査（組成分析）による紙製容器包装成分比を用いて推定した。

回収量の内訳では、容リルートで 20 千トン、古紙ルートで 132 千トンとなる。回収された紙製容器包装は、約 95%が製紙原料ととなり板紙・段ボール等に再商品化されている。

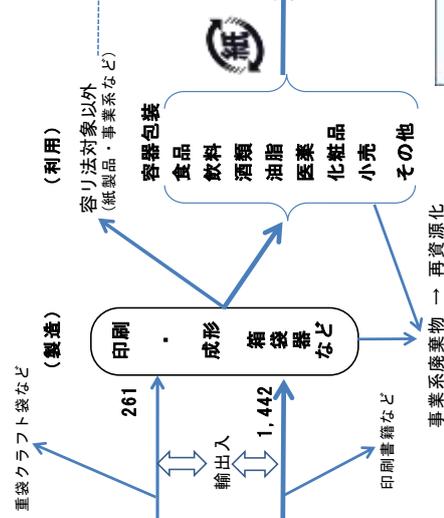
紙製容器包装に係るマテリアルフローの概要 2021年度

紙製容器包装リサイクル推進協議会

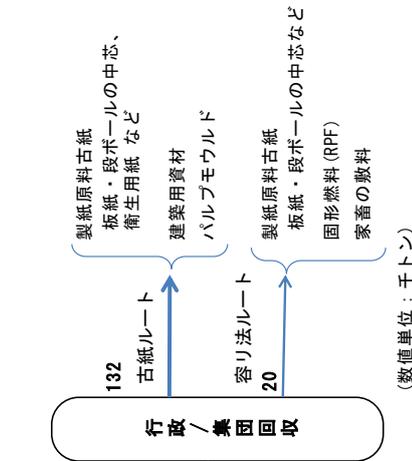
<家庭系古紙>



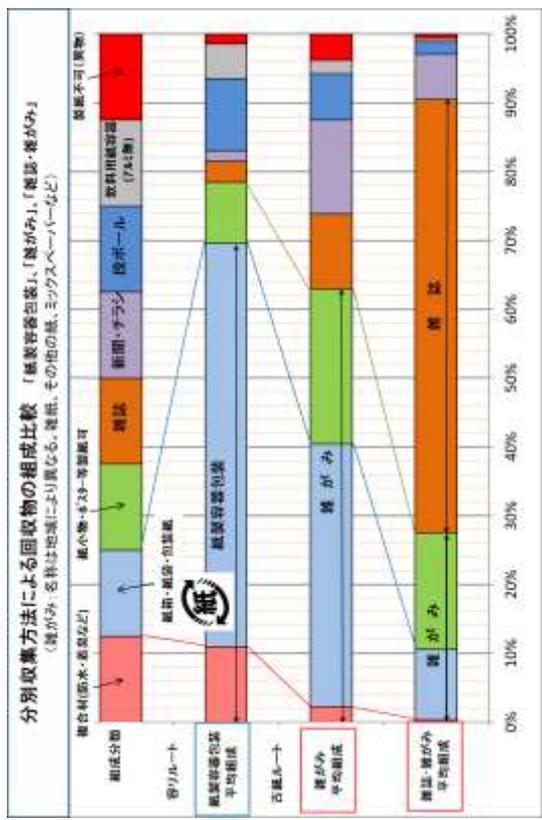
<製造・利用者>



<市町村 他>



<再商品化>



紙・板紙の国内出荷量
(紙パルプ統計：2021年実績)

資料編

＜八王子市組成分析＞ “雑誌・雑紙”

実施日

平成24年11月29日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
製紙原料に向くもの	1 「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	131.5	11.87%	3
	1' 「紙箱」 ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	25.6	2.31%	7
	2 「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	34.5	3.11%	5
	3 「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	4.2	0.38%	13
	4 「新聞・チラシ」		43.3	3.91%	4
	5 「雑誌」		418.4	37.75%	1
	6 「段ボール」		25.9	2.34%	6
	7 「紙・小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	356.8	32.20%	2
	8 「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	13.1	1.18%	9
	9 「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	19.2	1.73%	8
10 「その他」(製紙原料に向く)	上記に所属しない紙単体のもの、など	0.0	0.00%	19	
製紙原料に向くもの 合計			1072.5	96.78%	
向かないもの	11 「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	11.9	1.07%	10
	12 「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	5.0	0.45%	12
	13 「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	1.1	0.10%	18
	14 「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	2.4	0.22%	15
	15 「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ種の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	7.2	0.65%	11
	16 「複合材」(紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	2.4	0.22%	15
	17 「フィルム貼りの紙」	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、他	0.0	0.00%	19
	18 「裏カーボン・シュレダー」	伝票関係、感熱紙、シュレダーにかけた紙、など	3.0	0.27%	14
	19 汚れた紙製容器包装		0.7	0.06%	18
	20 「その他」(製紙に向かない)	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙、	2.0	0.18%	17
製紙原料に向かないもの 合計			35.7	3.22%	
調査合計			1108.2		

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+11+12+13+14+15+16=	225.8	20.38%
製紙原料に向く紙製容器包装	上表の1+1'+2+3=	195.8	17.67%
〃に向かない紙製容器包装	上表の11+12+13+14+15+16=	30.0	2.71%

新聞・段ボール・牛乳パック	上表の4+6+9=	88.4	7.98%
雑誌・小物(製紙可)など	上表の5+7+8+10=	788.3	71.13%
紙小物(製紙不可)異物	上表の17+18+19+20=	5.7	0.51%

＜松山市組成分析＞ “本類・雑紙”

実施日

平成25年7月19日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
本類 ざつ紙 回収対象物	1 「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	99.9	9.2%	3
	1' 「紙箱」 ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	20.3	1.9%	8
	2 「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	21.5	2.0%	7
	3 「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	4.3	0.4%	13
	4 「雑誌」		489.1	45.1%	1
	5 「紙・小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	331.1	30.5%	2
	6 「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	7.3	0.7%	10
	7 「その他」(製紙原料に向く)	上記に所属しない紙単体のもの、など	2.7	0.2%	13
他分類 からの 混入	8 「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	12.2	1.1%	9
	9 「新聞」		24.8	2.3%	5
	10 「新聞用チラシ」		23.4	2.2%	6
	11 「段ボール」		28.8	2.7%	4
	12 「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	7.2	0.7%	10
小計			1072.6	98.9%	
回収 非対象物	13 「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	2.1	0.2%	13
	14 「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	1.8	0.2%	13
	15 「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.9	0.1%	17
	16 「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	0.6	0.1%	17
	17 「複合材」 (紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	0.5	0.0%	22
	18 「フィルム貼りの紙」	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、他	1.0	0.1%	17
	19 「裏カーボン・シュレッダー」	伝票関係、感熱紙、シュレッダーにかけた紙、など	0.9	0.1%	17
	20 汚れた紙製容器包装		1.2	0.1%	17
	21 「その他」(製紙に向かない)	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙、	3.1	0.3%	12
小計			12.1	1.1%	
調査合計			1084.7	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+8+13+14+15+16+17=	164.1	15.13%
回収対象紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+8=	158.2	14.58%
回収非対象紙製容器包装	上表の13+14+15+16+17=	5.9	0.54%
雑誌・小物(製紙可)など	上表の4+5+6+7=	830.2	76.54%
新聞・新聞チラシ・段ボール・牛乳パック	上表の9+10+11+12=	84.2	7.76%
紙小物(製紙不可)異物	上表の18+19+20+21=	6.2	0.57%

＜札幌市組成分析＞ “雑がみ”
 実施日 平成25年9月3日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

		分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
紙単体紙製容器包装	1	「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プラスチックパックの箱	106.0	20.5%	2
	1'	「紙箱」 ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	14.6	2.8%	8
	2	「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、葉の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	21.5	4.2%	6
	3	「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	4.1	0.8%	17
	4	「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	13.3	2.6%	10
複合紙製容器包装	5	「洗剤箱」	粉石鹼箱、石鹼個包装紙、など	2.8	0.5%	19
	6	「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	3.4	0.7%	18
	7	「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	4.8	0.9%	15
	8	「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ種の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	4.7	0.9%	15
	9	「複合材」 (紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	0.0	0.0%	21
小計				175.2	33.9%	
雑がみ	10	「紙小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	116.2	22.5%	1
	11	「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	11.5	2.2%	11
	12	「その他」(製紙原料に向く)	上記に所属しない紙単体のもの、など	10.2	2.0%	13
他分類からの混入	13	「雑誌」		40.9	7.9%	5
	14	「新聞・チラシ」		63.7	12.3%	3
	15	「段ボール」		41.3	8.0%	4
	16	「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	14.7	2.8%	8
その他	17	「フィルム貼りの紙」	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、他	11.5	2.2%	11
	18	「シュレッダー」	伝票関係、感熱紙、シュレッダーにかけた紙、など	20.2	3.9%	7
	19	汚れた紙製容器包装		2.2	0.4%	20
	20	「その他」(製紙に向かない)	金属容器、金属系ごみ、プラスチック容器、プラスチック系ごみ、食物残渣塗着の紙、	8.7	1.7%	14
小計				341.1	66.1%	
調査合計				516.3	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4+5+6+7+8+9=	175.2	33.93%
紙単体紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4=	159.5	30.89%
複合紙製容器包装	上表の5+6+7+8+9=	15.7	3.04%

小物類(製紙可)	上表の10+11+12=	137.9	26.71%
雑誌・新聞・段ボール・牛乳パック	上表の13+14+15+16=	160.6	31.11%
紙小物(製紙不適)	上表の17+18=	31.7	6.14%
その他	上表の19+20	10.9	2.11%

＜釧路市組成分析＞ “雑がみ”

実施日

平成26年7月18日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率 (%)	構成順位
紙単体紙製容器包装	1 「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	109.7	23.0%	1
	1' 「紙箱」ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	23.8	5.0%	6
	2 「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の 入る紙袋(ドラッグストアから)、など	9.1	1.9%	10
	3 「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	2.8	0.6%	17
	4 「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	12.7	2.7%	9
複合紙製容器包装	5 「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	1.8	0.4%	20
	6 「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	2.3	0.5%	18
	7 「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	3.7	0.8%	14
	8 「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、 納豆紙カップ、など	3.4	0.7%	15
	9 「複合材」 (紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	5.5	1.2%	13
小計			174.8	36.7%	
雑がみ	10 「紙小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、等	61.8	13.0%	3
	11 「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯	13.5	2.8%	8
	12 「その他」(製紙原料に向く)	上記に所属しない紙単体のもの、など	5.9	1.2%	11
小計			81.2	17.1%	
他分類からの混入	13 「雑誌」		43.1	9.1%	5
	14 「新聞・チラシ」		103.0	21.6%	2
	15 「段ボール」		45.6	9.6%	4
	16 「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	17.2	3.6%	7
小計			208.9	43.9%	
その他	17 「フィルム貼りの紙」	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、他	2.3	0.5%	19
	18 「裏カーボン・シュレッダー」	伝票関係、感熱紙、シュレッダーにかけた紙、など	0.3	0.1%	21
	19 汚れた紙製容器包装		2.6	0.5%	16
	20 「その他」(製紙に向かない)	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙、	5.6	1.2%	12
小計			10.8	2.3%	
調査合計			475.7	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4+5+6+7+8+9=	174.8	36.7%
紙単体紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4=	158.1	33.2%
複合紙製容器包装	上表の5+6+7+8+9=	16.7	3.5%

小物類(製紙可)	上表の10+11+12=	81.2	17.1%
雑誌・新聞・段ボール・牛乳パック	上表の13+14+15+16=	208.9	43.9%
紙小物(製紙不適)	上表の17+18=	2.6	0.6%
その他	上表の19+20	8.2	1.7%
	合計	475.7	100.0%

＜宮崎市組成分析＞ “雑誌(その他の紙)”

実施日

平成26年10月24日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
回収対象物	1 「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	45.2	5.36%	4
	1' 「紙箱」 ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	7.1	0.84%	6
	2 「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	4.7	0.56%	9
	3 「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	0.6	0.07%	15
	4 「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	5.4	0.64%	8
	5 「新聞」		5.9	0.70%	7
	6 「新聞用チラシ」		172.2	20.40%	2
	7 「雑誌」		430.0	50.95%	1
	8 「段ボール」		8.7	1.03%	5
	9 「紙・小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	154.0	18.25%	3
	10 「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	1.8	0.21%	11
	11 「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	2.8	0.33%	10
12 「その他」(製紙原料に向く)	上記に所属しない紙単体のもの、など	0.0	0.00%	22	
合計			838.4	99.34%	
回収非対象	13 「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	0.6	0.07%	16
	14 「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.6	0.07%	17
	15 「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.8	0.09%	14
	16 「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	0.1	0.01%	19
	17 「複合材」(紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	0.2	0.02%	18
	18 「フィルム貼りの紙」	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、他	1.6	0.19%	12
	19 「裏カーボン・シュレッダー」	伝票関係、感熱紙、シュレッダーにかけた紙、など	0.1	0.01%	20
	20 汚れた紙製容器包装		0.1	0.01%	21
	21 「その他異物等」	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙、	1.5	0.18%	13
合計			5.6	0.66%	
調査合計			844.0	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4+13+14+15+16+17=	65.3	7.74%	紙容器中
紙単体の紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4=	63.0	7.46%	96.48%
複合の紙製容器包装	上表の13+14+15+16+17=	2.3	0.27%	3.52%

新聞・段ボール・牛乳パック	上表の5+8+11=	17.4	2.06%	
雑誌・小物(製紙可)・新聞用チラシ	上表の6+7+9+10+12=	758.0	89.81%	
その他(汚れた紙・異物など)	上表の18+19+20+21=	3.3	0.39%	

＜大分市組成分析＞ “その他の紙(雑誌含む)”

実施日

平成27年9月18日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
1	「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	78.5	10.11%	4
1'	「紙箱」ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	9.4	1.21%	8
2	「紙袋」	手揚げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋葉の入る紙袋(ドラッグストアから)、など、	8.5	1.09%	9
3	「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	2.3	0.30%	12
4	「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	6.9	0.89%	10
5	「新聞・新聞用チラシ」		80.0	10.30%	3
6	「雑誌」		377.6	48.61%	1
7	「段ボール」		20.0	2.57%	5
8	「紙・小物」「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	141.4	18.20%	2
9	「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	5.5	0.71%	10
10	「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	19.8	2.55%	6
11	「その他」(製紙原料に向く)		0.0	0.00%	18
合計			749.9	96.54%	
12	「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	1.1	0.14%	17
13	「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	1.1	0.14%	17
14	「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	1.3	0.17%	15
15	「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	1.3	0.17%	15
16	「複合材」(紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	6.6	0.85%	11
17	製紙原料不適の紙	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、伝票関係、感熱紙、シュレッダーにかけた紙、など	10.3	1.33%	7
18	汚れた紙製容器包装		0.8	0.10%	19
19	プラスチック・異物等	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙、	4.4	0.57%	13
合計			26.9	3.46%	
調査合計			776.8	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4+12+13+14+15+16=	117.0	15.06%
紙単体の紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4=	105.6	13.59%
複合の紙製容器包装	上表の13+14+15+16=	11.4	1.47%
新聞・新聞用チラシ、	上表の5	80.0	10.30%
段ボール、	上表の7	20.0	2.57%
雑誌、紙小物、紙芯	上表の6+8+9=	524.5	67.52%
牛乳パック	10	19.8	2.55%
製紙不適、異物	上表の17+18+19+20+=	15.5	2.00%

*新聞・新聞用チラシ、段ボールは、雑誌・雑がみの構成比より推定した。

＜福岡市組成分析＞ 集団回収”雑誌・雑紙”

実施日 平成28年5月13日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

	分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
1	「紙箱」	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	17.2	2.80%	4
1'	「紙箱」 ティッシュ	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	7.1	1.16%	5
2	「紙袋」	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	4.9	0.80%	6
3	「包装紙」	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	1.1	0.18%	11
4	「マルチパック」	缶ビールなどの6缶パック、など	1.5	0.24%	9
5	「新聞」		41.8	6.80%	3
6	「雑誌」		402.8	65.57%	1
7	「段ボール」		2.8	0.46%	7
8	「紙・小物」 「ポスター・他」	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙、FAX紙、ポスター、カレンダー、など	131.4	21.39%	2
9	「紙芯」	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	0.1	0.02%	15
10	「牛乳パック」	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	1.6	0.26%	8
11	その他製紙原料に向く	上記に所属しない紙単体のもの、など	0.2	0.03%	12
合計			612.5	99.71%	
12	「洗剤箱」	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	0.0	0.00%	18
13	「金銀箔」	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.2	0.03%	12
14	「複合材」(飲料他)	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.1	0.02%	15
15	「複合材」(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	0.0	0.00%	18
16	「複合材」(紙袋、包装紙、紙箱)	フィルム貼りされた、紙袋、包装紙、紙箱	1.2	0.20%	10
17	その他製紙原料不適	フィルム加工紙、油紙、写真、シュレッター、感熱紙、カーボン紙他	0.1	0.02%	15
18	汚れた紙製容器包装		0.0	0.00%	18
19	異物・プラスチック	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残漆付着の紙、	0.2	0.02%	12
合計			1.8	0.28%	
調査合計			614.3	100.0%	

紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4+12+13+14+15+16=	33.3	5.42%
紙単体の紙製容器包装	上表の1+1'+2+3+4=	31.8	5.18%
複合の紙製容器包装	上表の12+13+14+15+16=	1.5	0.24%

新聞・段ボール・牛乳パック	上表の5+7+10=	46.2	7.52%
雑誌・小物(製紙可)・紙芯	上表の6+8+9+11=	534.3	86.98%
紙小物(製紙不可)・異物	上表の17+18+19=	0.3	0.05%

＜苫小牧市組成分析＞ 紙類

実施日

平成29年6月16日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
1 紙箱	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	96.4	18.33%	2
2 ティッシュ箱	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	24.0	4.56%	6
3 紙袋	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	8.1	1.54%	12
4 包装紙	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	3.5	0.67%	17
5 マルチパック	缶ビールなどの6缶パック、など	12.0	2.28%	9
6 新聞・チラシ		86.7	16.49%	3
7 雑誌		54.0	10.27%	4
8 段ボール		33.3	6.33%	5
9 アルミなし紙容器(牛乳パック)	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	8.4	1.60%	11
10 紙小物 ポスター等	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙	128.2	24.38%	1
11 紙芯	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	13.6	2.59%	8
12 その他 製紙原料に向くもの		2.1	0.40%	18
合計		470.3	89.43%	-
13 洗剤箱	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	1.7	0.32%	20
14 金銀箔	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.7	0.13%	22
15 複合材(飲料容器(アルミ付))	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	4.2	0.80%	16
16 複合材(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	6.6	1.25%	14
17 複合材(紙袋)	フィルム貼りされた紙袋	0.8	0.15%	21
18 複合材(紙箱、包装紙)	フィルム貼りされた紙箱、包装紙	5.8	1.10%	15
19 フィルム貼りの紙	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、伝票関係	7.1	1.35%	13
20 裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	裏カーボン紙、感熱紙、シュレッターにかけた紙、など	17.1	3.25%	7
21 その他 製紙原料に向かないもの	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙	9.8	1.86%	10
22 汚れた紙製容器包装容器	汚れた紙製容器包装	1.8	0.34%	19
合計		55.6	10.57%	-
調査合計		525.9	100.00%	-

紙製容器包装	上表の1+2+3+4+5+13+14+15+16+17+18=	163.8	31.15%
紙製容器包装(紙単体)	上表の1+2+3+4+5=	144.0	27.38%
紙製容器包装(複合材)	上表の13+14+15+16+17+18=	19.8	3.76%
新聞、雑誌、段ボール、アルミ無し紙容器(牛乳パック)	上表の6+7+8+9=	182.4	34.68%
紙小物、紙芯、その他製紙にむくもの	上表の10+11+12=	143.9	27.36%
裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	上表の20=	17.1	3.25%
製紙不適(フィルム貼り、その他向かないもの、汚れた容器)	上表の19+21+22=	18.7	3.56%
合計		525.9	100.00%

＜鹿児島市組成分析＞ 古紙

実施日

平成29年10月10日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
1 紙箱	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターバックの箱	30.10	2.32%	5
2 ティッシュ箱	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	4.35	0.33%	9
3 紙袋	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	7.10	0.55%	8
4 包装紙	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	1.15	0.09%	13
5 マルチパック	缶ビールなどの6缶パック、など	3.80	0.29%	10
6 新聞・チラシ		620.00	47.73%	1
7 雑誌		260.00	20.01%	3
8 段ボール		320.00	24.63%	2
9 アルミなし紙容器(牛乳パック)	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	7.55	0.58%	6
10 紙小物 ポスター等	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙	36.50	2.81%	4
11 紙芯	ロールティッシュの芯、ラップホイルの芯、粘着テープの芯など	0.55	0.04%	16
12 その他 製紙原料に向くもの		0.65	0.05%	14
合計		1291.75	99.44%	-
13 洗剤箱	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	0.10	0.01%	21
14 金銀箔	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.30	0.02%	19
15 複合材(飲料容器(アルミ付))	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.50	0.04%	18
16 複合材(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ種の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	0.25	0.02%	19
17 複合材(紙袋)	フィルム貼りされた紙袋	0.55	0.04%	16
18 複合材(紙箱、包装紙)	フィルム貼りされた紙箱、包装紙	0.65	0.05%	14
19 フィルム貼りの紙	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、伝票関係	2.70	0.21%	11
20 裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	裏カーボン紙、感熱紙、シュレッターにかけた紙、など	0.00	0.00%	22
21 その他 製紙原料に向かないもの	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣添着の紙	2.20	0.17%	12
22 汚れた紙製容器包装容器	汚れた紙製容器包装	0.05	0.00%	22
合計		7.30	0.56%	-
調査合計		1299.05	100.00%	-

紙製容器包装	上表の1+2+3+4+5+13+14+15+16+17+18=	48.85	3.76%
紙製容器包装(紙単体)	上表の1+2+3+4+5=	46.50	3.58%
紙製容器包装(複合材)	上表の13+14+15+16+17+18=	2.35	0.18%
新聞、雑誌、段ボール、アルミなし紙容器(牛乳パック)	上表の6+7+8+9=	1207.55	92.96%
紙小物、紙芯、その他製紙にむくもの	上表の10+11+12=	37.70	2.90%
裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	上表の20=	0.00	0.00%
製紙不適(フィルム貼り、その他向かないもの、汚れた容器)	上表の19+21+22=	4.95	0.38%
合計		1299.05	100.00%

<出雲市組成分析> 古紙
 実施日 平成30年10月19日 紙製容器包装リサイクル推進協議会

分類	主な該当対象ごみ	各種要素排出量(kg)	構成率(%)	構成順位
1 紙箱	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	66.00	7.02%	4
2 ティッシュ箱	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	8.90	0.95%	8
3 紙袋	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	7.20	0.77%	9
4 包装紙	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、千代紙、など	11.15	1.19%	6
5 マルチパック	缶ビールなどの6缶パック、など	4.80	0.51%	11
6 新聞・チラシ		177.80	18.90%	3
7 雑誌		373.50	39.71%	1
8 段ボール		16.70	1.78%	5
9 アルミなし紙容器(牛乳パック)	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	1.45	0.15%	16
10 紙小物 ポスター等	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール(窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙	242.35	25.76%	2
11 紙芯	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイールの芯、粘着テープの芯など	3.25	0.35%	13
12 その他 製紙原料に向くもの		2.80	0.30%	14
合計		915.90	97.37%	-
13 洗剤箱	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	9.05	0.96%	7
14 金銀箔	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.45	0.05%	19
15 複合材(飲料容器(アルミ付))	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.00	0.00%	21
16 複合材(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、納豆紙カップ、など	0.25	0.03%	20
17 複合材(紙袋)	フィルム貼りされた紙袋	4.40	0.47%	12
18 複合材(紙箱、包装紙)	フィルム貼りされた紙箱、包装紙	2.35	0.25%	15
19 フィルム貼りの紙	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、伝票関係	6.20	0.66%	10
20 裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	裏カーボン紙、感熱紙、シュレッターにかけた紙、など	0.00	0.00%	21
21 その他 製紙原料に向かないもの	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙	1.35	0.14%	17
22 汚れた紙製容器包装容器	汚れた紙製容器包装	0.70	0.07%	18
合計		24.75	2.63%	-
調査合計		940.65	100.00%	-

紙製容器包装	上表の1+2+3+4+5+13+14+15+16+17+18=	114.55	12.18%
紙製容器包装(紙単体)	上表の1+2+3+4+5=	98.05	10.42%
紙製容器包装(複合材)	上表の13+14+15+16+17+18=	16.50	1.75%
新聞、雑誌、段ボール、アルミなし紙容器(牛乳パック)	上表の6+7+8+9=	569.45	60.54%
紙小物、紙芯、その他製紙にむくもの	上表の10+11+12=	248.40	26.41%
裏カーボン紙・シュレッター、感熱紙	上表の20=	0.00	0.00%
製紙不適(フィルム貼り、その他向かないもの、汚れた容器)	上表の19+21+22=	8.25	0.88%
合計		940.65	100.00%

＜倉敷市組成分析＞ 雑誌・雑がみ

実施日

令和元年10月18日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

分類	主な該当対象ごみ	各種要素 排出量(kg)	構成率(%)	構成 順位
1 紙箱	菓子箱、贈答箱、各種商品収納箱、中仕切り、プリスターパックの箱	58.80	4.54%	4
2 ティッシュ箱	※窓部のフィルムが付いていても除去されていても該当	3.40	0.26%	9
3 紙袋	手提げ紙袋、小売店から提供される平紙袋やガセット紙袋、 薬の入る紙袋(ドラッグストアから)、など	3.80	0.29%	8
4 包装紙	包装紙、包むのに使う薄紙(カーディガン、ハンドバック、他)、 千代紙、など	5.40	0.42%	6
5 マルチパック	缶ビールなどの6缶パック、など	1.95	0.15%	11
6 新聞・チラシ		219.30	16.92%	3
7 雑誌		715.75	55.23%	1
8 段ボール		9.75	0.75%	5
9 アルミなし紙容器(牛乳パック)	(アルミなし)牛乳パック、茶系飲料パック、など	0.25	0.02%	18
10 紙小物 ポスター等	レシート、名刺、はがき、値札、ペラ説明書、メモ紙、など(紙単体)ダイレクトメール (窓なし)、社用封筒、カタログ、パンフレット、メモ帳、ノート、コピー紙	264.90	20.44%	2
11 紙芯	ロールティッシュの芯、ラップ、ホイルの芯、粘着テープの芯など	0.95	0.07%	14
12 その他 製紙原料に 向くもの		1.45	0.11%	12
合計		1285.70	99.22%	-
13 洗剤箱	粉石鹸箱、石鹸個包装紙、など	0.05	0.00%	19
14 金銀箔	箔押しされた光沢カートン、フィルム貼りされた光沢カートン、など	0.70	0.05%	16
15 複合材(飲料容器(アルミ付))	(アルミ付)酒パック、ブリックパック、紙缶など	0.00	0.00%	21
16 複合材(カップ)	アイスクリーム紙カップ、カップ麺の紙カップ、ヨーグルト紙カップ、 納豆紙カップ、など	0.00	0.00%	21
17 複合材(紙袋)	フィルム貼りされた紙袋	1.00	0.08%	13
18 複合材(紙箱、包装紙)	フィルム貼りされた紙箱、包装紙	4.80	0.37%	7
19 フィルム貼りの紙	窓付き封筒、フィルム加工紙、油紙、写真、伝票関係	2.05	0.16%	10
20 裏カーボン紙・シュレツダー、感熱紙	裏カーボン紙、感熱紙、シュレツダーにかけた紙、など	0.55	0.04%	17
21 その他 製紙原料に 向かないもの	金属容器、金属系ごみ、プラ容器、プラ系ごみ、食物残渣付着の紙	0.95	0.07%	14
22 汚れた紙製容器包装容器	汚れた紙製容器包装	0.05	0.00%	19
合計		10.15	0.78%	-
調査合計		1295.85	100.00%	-

紙製容器包装	上表の1+2+3+4+5+13+14+15+16+17+18=	79.90	6.17%
紙製容器包装(紙単体)	上表の1+2+3+4+5=	73.35	5.66%
紙製容器包装(複合材)	上表の13+14+15+16+17+18=	6.55	0.51%
新聞、雑誌、段ボール、アルミ無し紙容器(牛乳パック)	上表の6+7+8+9=	945.05	72.93%
紙小物、紙芯、その他製紙にむくもの	上表の10+11+12=	267.30	20.63%
裏カーボン紙・シュレツダー、感熱紙	上表の20=	0.55	0.04%
製紙不適(フィルム貼り、その他向かないもの、汚れた容器)	上表の19+21+22=	3.05	0.24%
合計		1295.85	100.00%

平成24年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成25年2月6日実施)

市町村名：名古屋市

調査実施場所：(株)宮崎 清須リサイクルセンター

区分	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)		
		単一	複合	単一	複合	単一	複合	
紙製容器包装	紙箱	単一素材	191.3		39.38%		60.12%	
		単一	10.1		2.08%		3.17%	
	紙製容器包装(アルミ付き)	単一	31.1		6.40%		9.77%	
		複合		3.8		0.78%		1.19%
	紙カップ、紙トレイ	複合素材		8.0		1.65%		2.51%
		洗剤の箱		3.1		0.64%		0.97%
	紙管製容器	複合素材		15.1		3.11%		4.75%
		複合素材		12.6		2.59%		3.96%
	包装紙	単一素材	4.20		0.86%		1.32%	
		複合素材		5.10		1.05%		1.60%
	紙袋	単一(取っ手部が異材質含む)	29.80		6.13%		9.37%	
		複合(袋部が複合素材など)		2.10		0.43%		0.66%
	パルプモールド	単一素材	1.30		0.27%		0.41%	
	紙製容器包装 小 計		267.80	50.40	55.11%	10.37%	84.16%	15.84%
		318.20		65.49%		100.00%		
紙製容器包装以外	段ボール	67.20		13.83%				
	紙パック(アルミなし)	15.60		3.21%				
	一般の古紙	段ボール・紙パック 小計		82.80		17.04%		
		新聞、チラシ	13.40		2.76%			
		雑誌	31.10		6.40%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))	26.60		5.48%			
	不適合物	紙芯	8.10		1.67%			
		一般古紙 小計		79.20		16.30%		
	残さ(その他金属等),汚れ品等	その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)	0.80		0.16%			
		その他プラスチック類	2.50		0.51%			
		不適合物 小計	2.30		0.47%			
	紙製容器包装以外 小 計	167.60	5.60	34.50%	1.15%			
	合計	485.80		99.99%				
	排出用ポリ袋	0.7						

* 金銀内訳 kg

蒸着	0.4	12.90%
アルミ箔	0.3	9.68%
たばこ	2.4	77.42%

平成25年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成26年2月7日実施)

市町村名：名古屋市
調査実施場所：樺宮崎 港南第一営業所

区分	種	類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	168.4		39.73%		57.67%	
		単一	18.0	マルチパック	4.25%		6.16%	
	単一	32.5	ティン缶ボックス	7.67%		11.13%		
	複合素材		複合		1.39%		2.02%	
	複合素材		洗剤の箱		2.19%		3.18%	
	複合素材		金銀		0.85%		1.23%	
	複合素材			15.0		3.54%		5.14%
	複合素材			13.2		3.11%		4.52%
	複合素材			1.4		0.33%		0.48%
	単一素材			2.40		0.57%		0.82%
	複合素材				0.20			0.07%
	単一(取っ手部分が異材質含む)			17.90		4.22%		6.13%
	複合(袋部が複合素材など)				2.90			0.99%
	パルプモールド			1.30		0.31%		0.45%
	紙製容器包装 小	計	240.50	51.50	56.74%	12.15%	82.36%	17.64%
			292.00		68.88%		100.00%	
紙製容器包装以外	段ボール		47.30		11.16%			
	紙パック(アルミなし)		22.20		5.24%			
		段ボール・紙パック 小計		69.50		16.40%		
	一般の古紙	新聞、チラシ		5.80		1.37%		
		雑誌		4.00		0.94%		
	不適合物	その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))		35.30		8.33%		
		紙芯		9.90		2.34%		
		一般古紙 小計		55.00		12.97%		
	不適合物	その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)		1.30		0.31%		
		その他プラスチック類		0.80		0.19%		
	不適合物 小計	残さ(その他金属等)、汚れ品等		5.30		1.25%		
		不適合物 小計		7.40		1.75%		
		紙製容器包装以外 小計		131.90		31.12%		
		合計		423.90		100.00%		
	排出用ポリ袋		8.1					

平成26年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成27年2月6日実施)

市町村名：名古屋市
調査実施場所：樺宮崎 港南第一営業所

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	177.2		42.84%		59.34%	
		単一	19.6	マルチパック	4.74%		6.56%	
		単一	30.8	アイソエポックス	7.45%		10.31%	
	飲料容器(アルミ付き)	複合素材		4.2		1.02%		1.41%
		複合素材		7.5	洗剤の箱	1.81%		2.51%
		複合素材		4.2	金銀	1.02%		1.41%
	紙製容器包装	複合素材		10.8		2.61%		3.62%
		複合素材		15.3		3.70%		5.12%
		複合素材		1.8		0.44%		0.60%
	紙袋	単一素材		4.60		1.11%		1.54%
		複合素材		0.80		0.19%		0.27%
		複合(取っ手部分が異材質含む)		17.30		4.18%		5.79%
	パルプモールド	複合(袋部が複合素材など)		3.10		0.75%		1.04%
単一素材			1.40		0.34%		0.47%	
小計			250.90	47.70	60.66%	11.53%	84.03%	
紙製容器包装 小計			298.60		72.20%		100.00%	
紙製容器包装以外	段ボール	段ボール	39.10		9.45%			
		紙パック(アルミなし)	23.80		5.75%			
		小計	62.90		15.21%			
	紙製容器包装以外	新聞、チラシ	7.10		1.72%			
		雑誌	8.00		1.93%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))	32.70		7.91%			
	不適合物	紙芯	1.40		0.34%			
		一般古紙 小計	49.20		11.90%			
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)	0.00		0.00%			
	紙製容器包装以外	その他プラスチック類	0.10		0.02%			
		残さ(その他金属等)、汚れ品等	2.80		0.68%			
		不適合物 小計	2.90		0.70%			
	紙製容器包装以外 小計			115.00		27.80%		
合計			413.60		100.00%			
排出用ポリ袋			7.4					

平成27年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成28年2月26日実施)

市町村名：名古屋市

調査実施場所：機宮崎 港南第一営業所

区分	種	類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	191.6		45.47%		62.78%	
		単一	21.7	マルチパック	5.15%		7.11%	
		単一	28.5	アイソフックス	6.76%		9.34%	
		複合素材		5.8		1.38%		1.90%
				4.0		0.95%		1.31%
				4.0		0.95%		1.31%
		複合素材		9.8		2.33%		3.21%
		複合素材		12.8		3.04%		4.19%
		複合素材		2.1		0.50%		0.69%
		単一素材		5.7		1.35%		1.87%
		複合素材		0.3		0.07%		0.10%
		単一(取っ手部が異材質含む)		14.5		3.44%		4.75%
		複合(袋部が複合素材など)		3.4		0.81%		1.11%
		単一素材		1.0		0.24%		0.33%
		紙製容器包装 小	計	263.00	42.20	62.41%	10.01%	86.17%
			305.20		72.43%		100.00%	
紙製容器包装以外	段ボール		32.30		7.66%			
	紙パック(アルミなし)		20.60		4.89%			
		段ボール・紙パック 小計		52.90		12.55%		
		新聞、チラシ		6.10		1.45%		
	一般の古紙		4.60		1.09%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))		44.30		10.51%		
		紙芯		3.40		0.81%		
		一般古紙 小計		58.40		13.86%		
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)		0.60		0.14%		
	不適合物		1.00		0.24%			
		残さ(その他金属等)、汚れ品等		3.30		0.78%		
		不適合物 小計		4.90		1.16%		
		紙製容器包装以外 小	計	116.20		27.57%		
		合計		421.40		100.00%		
		排出用ポリ袋		5.4				

平成28年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成29年2月23日実施)

市町村名：名古屋市
調査実施場所：株式会社宮崎 港南第一営業所

区分	種 類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
		単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器 包装	紙箱	単一素材	156.2		37.90%		58.07%
		単一	16.9	マルチパック	4.10%		6.28%
		単一	28.6	アイソエボックス	6.94%		10.63%
		複合素材		11.5		2.79%	4.28%
				3.6		0.87%	1.34%
				2.2		0.53%	0.82%
		複合素材		12.5		3.03%	4.65%
		複合素材		11.0		2.67%	4.09%
		複合素材		3.9		0.95%	1.45%
		単一素材		9.6		2.33%	3.57%
		複合素材		1.0		0.24%	0.37%
		単一(取っ手部分が異材質含む)		9.7		2.35%	3.61%
		複合(袋部分が複合素材など)		0.3		0.07%	0.11%
		単一素材		2.0		0.49%	0.74%
	紙製容器包装 小 計	223.00	46.00	54.11%	11.16%	82.90%	
		269.00		65.28%		100.00%	
紙製容器 包装以外	段ボール		57.70		14.00%		
	紙パック(アルミなし)		12.70		3.08%		
				70.40		17.08%	
		新聞、チラシ		12.90		3.13%	
	一般の古紙		11.40		2.77%		
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))		32.90		7.98%	
		紙芯		8.60		2.09%	
		一般古紙 小計		65.80		15.97%	
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)		0.50		0.12%	
	不適合物		2.50		0.61%		
		残さ(その他金属等)、汚れ品等		3.90		0.95%	
		不適合物 小計		6.90		1.67%	
		紙製容器包装以外 小 計	143.10		34.72%		
		合 計	412.10		100.00%		
	排出用ポリ袋		10.5				

平成29年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成30年2月16日実施)

市町村名：名古屋市
調査実施場所：髙宮崎 中川リサイクルセンター

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	182.32		46.50%		60.27%	
		単一	15.55	マルチパック	3.97%		5.14%	
		単一	30.05	アイソエボックス	7.66%		9.93%	
	飲料容器(アルミ付き)	複合素材		12.40		3.16%		4.10%
		複合素材		3.90		0.99%		1.29%
		複合素材		3.50		0.89%		1.16%
		複合素材		17.20		4.39%		5.69%
	紙管製容器	複合素材		11.75		3.00%		3.88%
		複合素材		1.80		0.46%		0.60%
		単一素材		4.10		1.05%		1.36%
	紙袋	複合素材		0.00		0.00%		0.00%
		単一(取っ手部分が異材質含む)		18.95		4.83%		6.26%
		複合(袋部分が複合素材など)		0.55	0.45	0.14%	0.11%	0.18%
	紙製容器包装以外	パルプモールド		0.55		0.14%		0.18%
紙製容器包装 小 計			251.52	51.00	64.15%	13.01%	83.14%	16.86%
			302.52		77.16%		100.00%	
紙製容器包装以外	段ボール	段ボール	19.55		4.99%			
		紙パック(アルミなし)	24.70		6.30%			
	紙製容器包装以外	段ボール・紙パック 小計		44.25		11.29%		
		新聞、チラシ		3.30		0.84%		
		雑誌		2.00		0.51%		
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))		22.55		5.75%		
	不適合物	紙芯		11.05		2.82%		
		一般古紙 小計		38.90		9.92%		
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)		0.30		0.08%		
		その他プラスチック類		1.05		0.27%		
	紙製容器包装以外	残さ(その他金属等)、汚れ品等		5.05		1.29%		
		不適合物 小計		6.40		1.63%		
	紙製容器包装以外 小 計			89.55		22.84%		
	合計			392.07		100.00%		
排出用ポリ袋			8.05					

平成30年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成31年3月1日実施)

市町村名：名古屋市
調査実施場所：樺宮崎 港南第一営業所

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	147.00		38.46%		58.71%	
		単一	13.35	マルチパック	3.49%		5.33%	
		単一	32.45	アイソエボックス	8.49%		12.96%	
		複合素材		5.90		1.54%		2.36%
				3.25		0.85%		1.30%
				4.25		1.11%		1.70%
				9.10		2.38%		3.63%
				7.60		1.99%		3.04%
				2.30		0.60%		0.92%
				7.35		1.92%		2.94%
				0.50		0.13%		0.20%
				15.95		4.17%		6.37%
				0.70		0.18%		0.28%
				216.80	33.60	56.72%	8.79%	86.58%
				250.40		65.51%		100.00%
		紙製容器包装 小 計						
紙製容器包装以外	段ボール		45.40		11.88%			
	紙パック(アルミなし)		28.00		7.33%			
				73.40		19.20%		
				24.20		6.33%		
				2.20		0.58%		
				13.80		3.61%		
				10.50		2.75%		
				50.70		13.26%		
				0.05		0.01%		
				1.45		0.38%		
				6.25		1.64%		
				7.75		2.03%		
				131.85		34.49%		
				382.25		100.00%		
				6.75				

2022年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(2023年3月10日実施)

市町村名：名古屋市中

調査実施場所：(株)宮崎 名港リサイクルセンター 北事業所

区分	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
		単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	186.65		43.33%		64.12%
		単一	12.10		2.81%		4.16%
		単一	22.35		5.19%		7.68%
		複合素材		4.85		1.13%	1.67%
		複合の箱		1.90		0.44%	0.65%
		洗剤の箱		3.50		0.81%	1.20%
		金銀		10.75		2.50%	3.69%
	飲料容器(アルミ付き)		12.40		2.88%		4.26%
	紙カップ、紙トレイ		2.05		0.48%		0.70%
	紙管製容器		4.70		1.09%		1.61%
	包装紙		0.55		0.13%		0.19%
	紙袋		25.25		5.86%		8.67%
	パルプモールド		2.10		0.49%		0.72%
	紙製容器包装 小 計	253.15	37.95	58.77%	8.81%	86.96%	
		291.10		67.58%		100.00%	

紙製容器包装以外	段ボール	28.70		6.66%		
	紙バック(アルミなし)	18.55		4.31%		
			47.25		10.97%	
	新聞、チラシ	26.25		6.09%		
	雑誌	15.70		3.64%		
	その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))	36.55		8.49%		
	紙芯	9.40		2.18%		
			87.90		20.41%	
	その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)	0.10		0.02%		
	その他プラスチック類	0.55		0.13%		
	残さ(その他金属等)、汚れ品等	3.85		0.89%		
	不適合物 小計		4.50		1.04%	
	紙製容器包装以外 小 計	139.65		32.42%		
合計	430.75		100.00%			
排出用ポリ袋	8.05					

旭川市「紙製容器包装・分別収集物」組成分析結果(平成27年6月19日実施)

市町村名：旭川市
調査実施場所：旭川クリーンセンター

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	143.3		34.6%		51.3%	
		単一	44.7		10.8%		16.0%	
		単一	22.9		5.5%		8.2%	
	複合素材	複合の箱		12.4		3.0%		4.4%
		洗剤の箱		6.2		1.5%		2.2%
		金銀		2.0		0.5%		0.7%
	飲料容器(アルミ付き)	複合素材		10.4		2.5%		3.7%
		紙カップ、紙トレイ		12.3		3.0%		4.4%
		紙管製容器		2.7		0.7%		1.0%
	包装紙	単一素材		7.0		1.7%		2.5%
		複合素材		4.4		1.1%		1.6%
		単一(取っ手部分が異材質含む)		10.0		2.4%		3.6%
	紙袋	複合(袋部分が複合素材など)		0.0		0.0%		0.0%
		単一素材		0.8		0.2%		0.3%
	紙製容器包装 小 計			228.7	50.4	55.2%	67.4%	81.9%
			279.1				100.0%	
紙製容器包装以外	段ボール	段ボール	32.60		7.9%			
		紙パック(アルミなし)	10.60		2.6%			
		段ボール・紙パック 小計		43.20		10.4%		
	新聞、チラシ	新聞、チラシ	16.80		4.1%			
		雑誌	5.60		1.4%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))	52.20		12.6%			
	紙芯	紙芯	9.70		2.3%			
		一般古紙 小計		84.30		20.4%		
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)	1.00		0.2%			
	不適合物	その他プラスチック類	1.30		0.3%			
		残さ(その他金属等)、汚れ品等	5.10		1.2%			
		不適合物 小計		7.40		1.8%		
	紙製容器包装以外 小 計			134.9		32.6%		
	合計			414.0		100.0%		
	排出用ポリ袋			3.9				

平成30年度紙製容器包装・分別収集物の組成分析結果(平成30年7月6日実施)

市町村名：帯広市
調査実施場所：帯広市 市民環境部 清掃事業課

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)		
			単一	複合	単一	複合	単一	複合	
紙製容器包装	紙箱	単一素材	197.60		36.82%		57.55%		
		単一	22.10		4.12%		6.44%		
		単一	25.70		4.79%		7.49%		
	複合素材	複合の箱		16.45		3.07%		4.79%	
		洗剤の箱		2.55		0.48%		0.74%	
		金銀		1.65		0.31%		0.48%	
	飲料容器(アルミ付き)	複合素材		15.20		2.83%		4.43%	
	紙カップ、紙トレイ	複合素材		20.45		3.81%		5.96%	
	紙管製容器	複合素材		2.30		0.43%		0.67%	
	包装紙	単一素材	9.40		1.75%		2.74%		
		複合素材		0.00		0.00%		0.00%	
	紙袋	単一素材(取っ手部が異材質含む)	25.45		4.74%		7.41%		
		複合素材(袋部が複合素材など)		1.75		0.33%		0.51%	
パルプモールド	単一素材	2.75		0.51%		0.80%			
	紙製容器包装 小計	283.00	60.35	52.74%	11.25%	82.42%	17.58%		
		343.35		63.99%		100.00%			
紙製容器包装以外	段ボール		35.90		6.69%				
	紙パック(アルミなし)		22.20		4.14%				
		段ボール・紙パック 小計		58.10		10.83%			
	一般の古紙	新聞、チラシ		34.30		6.39%			
		雑誌		14.00		2.61%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))		65.15		12.14%			
	不適合物	紙芯		14.65		2.73%			
		一般古紙 小計		128.10		23.87%			
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)		0.35		0.07%			
	残さ(その他金属等)、汚れ品等	その他プラスチック類		1.00		0.19%			
		不適合物 小計		5.70		1.06%			
		紙製容器包装以外 小計		193.25		36.01%			
		合計		536.60		100.00%			
	排出用ポリ袋		7.70						

2019年度「紙製容器包装・分別収集物」組成分析結果(2019年6月24日実施)

市町村名：北海道北見市

区分	種類	種類	測定値(kg)		全体中の比率(%)		紙製容器包装中の比率(%)	
			単一	複合	単一	複合	単一	複合
紙製容器包装	紙箱	単一素材	186.00		47.3%		64.9%	
		単一	34.65		8.8%		12.1%	
		単一	17.85		4.5%		6.2%	
	飲料容器(アルミ付き)	複合素材		4.80		1.2%		1.7%
		複合素材		0.90		0.2%		0.3%
		複合素材		2.10		0.5%		0.7%
	紙カップ、紙トレイ	複合素材		5.65		1.4%		2.0%
		複合素材		9.45		2.4%		3.3%
		複合素材		3.30		0.8%		1.2%
	紙管製容器	単一素材	4.95		1.3%		1.7%	
		複合素材		0.00		0.0%		0.0%
	紙袋	単一(取っ手部分が異材質含む)	8.10		2.1%		2.8%	
		複合(袋部分が複合素材など)		7.70		2.0%		2.7%
パルプモールド	単一素材	1.25		0.3%		0.4%		
	紙製容器包装 小 計	252.80	33.90	64.3%	72.9%	88.2%	11.8%	
			286.70				100.0%	
紙製容器包装以外	段ボール	段ボール(アルミなし)	15.80		4.0%			
		紙バック(アルミなし)	8.30		2.1%			
	一般の古紙	段ボール・紙バック 小計		24.10		6.1%		
		新聞、チラシ	9.00		2.3%			
		雑誌	0.00		0.0%			
		その他製紙原料適合(封筒、ノート、紙小物等(単体))	62.80		16.0%			
		紙芯	6.45		1.6%			
	不適合物	一般古紙 小計		78.25		19.9%		
		その他製紙原料不適合物(感熱紙、カーボン紙等)	0.00		0.0%			
		その他プラスチック類	3.75		1.0%			
		残さ(その他金属等)、汚れ品等	0.45		0.1%			
	紙製容器包装以外 小 計	不適合物 小計		4.20		1.1%		
		紙製容器包装以外 小 計	106.55		27.1%			
合 計			393.25		100.0%			
排出用ポリ袋			5.55					

紙製容器包装の回収率調査(2011年度実績)

調査対象：人口10万人以上の自治体 アンケート総数=293

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2010年度行政回収		調査項目	2011年度行政回収		2011年度集団回収	
自治体数	人口(万人)		自治体数	人口(万人)	自治体数	人口(万人)
252	7,435	X 「紙製容器包装」を回収している (内訳)	244	7,183	180	5,767
(152)	(内、集団も実施)		(151)	(内、集団も実施)		
35	1,104	A 単独量を回収した市区	33	1,013	7	162
						954
217	6,331	B 混合回収量を回収した市区	211	6,170	170	5,280
(45)	(1,556)	a 古紙総量を回収 (新聞・雑誌・段ボール他含む)	(35)	(1,220)	(29)	(498)
(143)	(3,933)	b 雑誌総量(又は段ボール総量)を回収	(142)	(3,998)	(107)	(3,531)
(28)	(695)	c "雑がみ"などで回収した量を回収	(32)	(930)	(23)	(958)
(1)	(147)	d 回収している量が量の把握はしていない	(2)	(22)	(11)	(293)
42	(1,499)	Y 「紙製容器包装」は回収していない	49	1,664	113	3,080
294	8,934	調査結果合計	293	8,847	293	8,847
	12,806	全国の人口(総務省人口推計2010)→(回収量拡大推計)		12,780		12,780
		家庭からの年間排出量推定(2009調査結果)(トン)				841,622
		紙製容器包装の回収率(推定)				5.2%
	13.9%					
						15.5%
						30,238
						(43,681)
						841,622
						5.2%

紙製容器包装の回収率調査結果(2012年度実績)

調査対象：人口10万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：293

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2011年度行政回収			2012年度行政回収				2012年度集団回収				
自治体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
244 (152)	7,183 (内、集団も実施)	90,136	X (253) (164)	7,666 (内、集団も実施)	90,991	(182)	5,667	37,334			
33	1,013	31,659	(32)	951	29,744	(6)	143	867			
			A								
(211)	6,170	58,477	(221)	6,715	61,247	(176)	5,525	36,467			
(35)	(1,220)	(4,806)	(26)	1,017	(3,798)	(18)	582	(4,180)			
(142)	(3,988)	(28,452)	(157)	4,406	(31,307)	(127)	4,007	(30,251)			
(32)	(930)	(25,219)	(35)	1,232	(26,141)	(28)	852	(2,036)			
(2)	(22)		(3)	60		(3)	84				
49	(1,664)		40	1,272		111	3,271				
293	8,847	90,136	293	8,938	90,991	293	8,938	37,334			
	12,780	(130,207)		12,779	(130,093)		12,779	(53,378)			
		841,622			800,479			800,479			
		15.5%			16.3%			6.7%			
			調査結果合計								
			全国の人口(総務省人口推計2011)→(回収量拡大推計)								
			家庭からの年間排出量推定(2009調査結果)(トン)								
			紙製容器包装の回収率(推定)								

紙製容器包装の回収率調査結果(2013年度実績)

2014年10月31日

調査対象：人口10万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：293

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2012年度 行政回収 自治 体数	2012年度 回収量 (トン)	2012年度 集団回収		調査項目	2013年度行政回収		2013年度集団回収		
		自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)	
253	90,991	182	37,334	「紙製容器包装」を回収している	261	7,907	194	5,866	37,282
32	29,744	6	867	A 単独量を回収した市区	33	998	6	143	615
221	61,247	176	36,467	B 混合回収量を回収した市区	228	6,909	188	5,723	36,667
(26)	(3,798)	(18)	(4,180)	a 古紙総量を回答 (新聞・雑誌・段ボール他含む)	(28)	729	(19)	378	(2,636)
(157)	(31,307)	(127)	(30,251)	b 雑誌・雑がみ総量(又は段ボール総量)を回答	(159)	4,301	(135)	4,160	(31,833)
(35)	(26,141)	(28)	(2,036)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(36)	1,737	(31)	993	(2,198)
(3)		(3)		d 回収しているが量の把握はしていない	(5)	142	(3)	192	
40		111		「紙製容器包装」は回収していない	32	1,042	99	3,083	
293	90,991	293	37,334	調査結果合計	293	8,949	293	8,949	37,282
#####			53,378	全国の人口(総務省人口推計2013)→(回収量拡大推計)		12,714		12,714	(52,968)
800,479			800,479	家庭からの年間排出量推定(2012調査結果)(トン)					800,479
16.25%			6.67%	紙製容器包装の回収率(推定)					6.62%
合計		23%			回収率合計			23.5%	

紙製容器包装の回収率調査結果(2014年度実績)

2015年9月24日

紙製容器包装リサイクル推進協議会

調査対象:人口10万人以上の自治体295市区 アンケート回答数:291

2013年度 行政回収		2013年度 集団回収		調査項目	2014年度行政回収			2014年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
261	94,822	194	37,282	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	262	7,901	94,346	197	5,847	38,467
33	28,826	6	615	A 単独量を回収した市区	34	992	27,154	5	124	569
228	65,996	188	36,667	B 混合回収量を回収した市区	228	6,909	67,192	192	5,723	37,898
(28)	(4,064)	(19)	(2,636)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(33)	835	(4,622)	(20)	427	(3,117)
(159)	(31,875)	(135)	(31,833)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(154)	4,104	(31,040)	(138)	4,442	(32,705)
(36)	(30,057)	(31)	(2,198)	c "雑がみ"などで回収した量を回答	(40)	1,955	(31,530)	(28)	760	(2,076)
(5)		(3)		d 回収しているが量の把握はしていない	(1)			(6)		
32		99		「紙製容器包装」は回収していない	29	1,042		94	3,096	
293	94,822	293	37,282	調査結果合計	291	8,943	94,346	291	8,943	38,467
	134,715		52,968	全国の人口(総務省人口推計2014)→(回収量拡大推計)		12,708	(134,066)		12,708	(54,662)
	800,479		800,479	家庭からの年間排出量推定(2012調査結果)(トン)			800,479			800,479
	16.83%		6.62%	紙製容器包装の回収率(推定)			16.75%			6.83%
合計			23.45%	回収率合計						23.58%

紙製容器包装の回収率調査結果(2015年度実績)

2017年3月13日

調査対象:人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数:292

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2014年度 行政回収		2014年度 集団回収		調査項目	2015年度行政回収			2015年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
262	94,346	197	38,467	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	261	7,759	91,741	204	6,457	38,686
34	27,154	5	569	A 単独量を回収した市区	36	1,060	26,926	6	139	764
228	67,192	192	37,898	B 混合回収量を回収した市区	225	6,699	64,815	199	6,319	37,922
(33)	(4,922)	(20)	(3,117)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(33)	678	(3,719)	(18)	417	(2,828)
(154)	(31,040)	(138)	(32,705)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(154)	4,565	(31,144)	(145)	4,657	(33,137)
(40)	(31,530)	(28)	(2,076)	c "雑がみ"などで回収した量を回答	(40)	1,456	(29,953)	(35)	1,245	(1,956)
(1)		(6)		d 回収しているが量の把握はしていない	(1)			(1)		
29		94		「紙製容器包装」は回収していない	31	1,173		88	2,475	
※人口カバー率:70.3%										
291	94,346	293	38,467	調査結果合計	292	8,933	91,741	292	8,933	38,686
	(134,066)		(54,862)	全国の人口(総務省人口推計2015)→(回収量拡大推計)		12,699	(130,425)		12,699	(54,999)
	800,479		800,479	家庭からの年間排出量推定(2015調査結果)(トン)			743,013			743,013
	16.8%		6.8%	紙製容器包装の回収率(推定)			17.6%			7.4%
合計			23.6%	紙製容器包装の回収率(推定)	回収率合計			25.0%		

紙製容器包装の回収率調査結果(2016年度実績)

紙製容器包装リサイクル推進協議会

調査対象：人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：292

※行政収集 雑誌・雑がみの係数(0.100→0.129)、雑がみの係数(0.428→0.404)を変更

2015年度 行政回収		2015年度 集団回収		調査項目	2016年度行政回収			2016年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
261	91,741	204	38,686	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	261	7,749	213	6,608	35,869	
36	26,926	6	764	A 単独量を回収した市区	35	1,015	7	150	717	
225	64,815	199	37,922	B 混合回収量を回収した市区	226	6,734	206	6,457	35,151	
(33)	(3,719)	(18)	(2,828)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(25)	666	(21)	416	(2,631)	
(154)	(31,144)	(145)	(33,137)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(157)	4,140	(149)	4,759	(30,554)	
(40)	(29,953)	(35)	(1,956)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(44)	1,928	(36)	1,282	(1,966)	
(1)		(1)		d 回収しているが量の把握はしていない	(0)		(0)			
31		88		「紙製容器包装」は回収していない	31	1,163	79	2,304		
※人口カバー率：70.3%										
292	91,741	292	38,686	調査結果合計	292	8,912	292	8,912	35,869	
	130,425		54,998	全国の人口(総務省人口推計2016)→(回収量拡大推計)		12,676		12,676	(51,021)	
	743,013		743,013	家庭からの年間排出量推定(2015調査結果)(トン)					743,013	
	17.6%		7.4%	紙製容器包装の回収率(推定)					6.9%	
合計			25.0%		回収率合計			25.1%		

紙製容器包装の回収率調査結果(2017年度実績)

調査対象:人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数:292件

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2016年度 行政収集		2016年度 集団回収		調査項目	2017年度行政収集			2017年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
261	95,081	213	35,869	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	262	7,774	92,743	213	6,644	35,369
35	26,109	7	717	A 単独量を回収した市区	35	1,059	25,862	8	173	712
226	68,972	206	35,151	B 混合回収量を回収した市区	227	6,715	66,881	205	6,470	34,657
(25)	(3,457)	(21)	(2,631)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(24)	572	(2,461)	(21)	437	(2,511)
(157)	(37,890)	(149)	(30,554)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(156)	4,069	(34,626)	(147)	4,766	(29,283)
(44)	(27,625)	(36)	(1,966)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(47)	2,075	(29,794)	(37)	1,268	(2,864)
(0)		(0)		d 回収しているが量の把握はしていない	(0)			(0)		
31		79		「紙製容器包装」は回収していない	30	1,143		79	2,274	
※人口カバー率:70.3%										
292	95,081	292	35,869	調査結果合計	292	8,917	92,743	292	8,917	35,369
	135,246		51,021	全国の人口(総務省人口推計2017)→(回収量拡大推計)		12,676	(131,836)		12,676	(50,277)
	18.2%		6.9%	家庭からの年間排出量推定(2015調査結果)(トン)			743,013			743,013
				紙製容器包装の回収率(推定)			17.7%			6.8%
合計			25.1%		回収率合計			24.5%		

紙製容器包装の回収率調査結果(2018年度実績)

調査対象：人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：291件

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2017年度 行政収集		2017年度 集団回収		調査項目	2018年度行政収集			2018年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
262	92,743	213	35,369	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	264	7,833	91,506	216	6,784	34,463
35	25,862	8	712	A 単独量を回収した市区	39	1,131	25,903	8	158	658
227	66,881	205	34,657	B 混合回収量を回収した市区	225	6,702	65,604	208	6,627	33,805
(24)	(2,461)	(21)	(2,511)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(20)	442	(1,860)	(21)	438	(2,475)
(156)	(34,626)	(147)	(29,283)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(159)	4,358	(35,747)	(152)	4,954	(29,043)
(47)	(29,794)	(37)	(2,864)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(46)	1,902	(27,997)	(35)	1,235	(2,288)
(0)		(0)		d 回収しているが量の把握はしていない	(0)			(0)		
30		79		「紙製容器包装」は回収していない	27	1,106		75	2,155	
※人口カバー率：70.7%										
292	92,743	292	35,369	調査結果合計	291	8,939	91,506	291	8,939	34,463
	131,836		50,277	全国の人口(総務省人口推計2018)→(回収量拡大推計)		12,650	(129,495)		12,650	(48,770)
	17.7%		6.8%	家庭からの年間排出量推定(2018調査結果)(トン)			660,941			660,941
				紙製容器包装の回収率(推定)			19.6%			7.4%
合計	182,114		24.5%		回収合計		178,265	回収合計		27.0%

紙製容器包装の回収率調査結果(2019年度実績)

調査対象：人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：290件

紙製容器包装リサイクル推進協議会

2018年度 行政収集		2018年度 集団回収		調査項目	2019年度行政収集			2019年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
264	91,506	216	34,463	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	263	7,775	89,201	218	6,864	34,328
39	25,903	8	658	A 単独量を回収した市区	38	1,200	24,706	8	168	904
225	65,604	208	33,805	B 混合回収量を回収した市区	225	6,575	64,495	210	6,696	33,424
(20)	(1,860)	(21)	(2,475)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(20)	559	(2,375)	(23)	492	(2,875)
(159)	(35,747)	(152)	(29,043)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(163)	4,276	(37,722)	(157)	5,113	(28,520)
(46)	(27,997)	(35)	(2,288)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(42)	1,741	(24,398)	(30)	1,091	(2,028)
(0)		(0)		d 回収しているが量の把握はしていない	(0)			(0)		
27		75		「紙製容器包装」は回収していない	28	1,083		72	1,994	
※人口カバー率：70.3%										
291	91,506	291	34,463	調査結果合計	290	8,858	89,201	290	8,858	34,328
	129,495		48,770	全国の人口(総務省人口推計2019)→(回収量拡大推計)		12,596	(126,838)		12,596	(48,811)
	19.6%		7.4%	家庭からの年間排出量推定(2018調査結果)(トン)			660,941			660,941
				紙製容器包装の回収率(推定)			19.2%			7.4%
合計	178,265		27.0%		回収合計		175,649	回収合計		26.6%

紙製容器包装の回収率調査結果(2020年度実績)

調査対象：人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：292件

紙製容器包装リサイクル推進協議会
※第4次自主行動計画数値目標は28%据置き

2019年度 行政収集		2019年度 集団回収		調査項目	2020年度行政収集			2020年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
263	89,201	218	34,328	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	264	7,908	87,375	219	7,045	31,397
38	24,706	8	904	A 単独量を回収した市区	36	1,161	23,786	10	219	592
225	64,495	210	33,424	B 混合回収量を回収した市区	228	6,747	63,589	209	6,826	30,805
(20)	(2,375)	(23)	(2,875)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(26)	618	(3,124)	(21)	479	(2,171)
(163)	(37,722)	(157)	(28,520)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(159)	4,690	(37,306)	(154)	5,118	(26,186)
(42)	(24,398)	(30)	(2,028)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(43)	1,439	(23,159)	(34)	1,229	(2,448)
(0)		(0)		d 回収しているが量の把握はしていない	(0)					
27		72		「紙製容器包装」は回収していない	28	1,073		73	1,936	
※人口カバー率：71.6%										
290	89,201	290	34,328	調査結果合計	292	8,981	87,375	292	8,981	31,397
	126,838		48,811	全国の人口(総務省人口推計2020)→(回収量拡大推計)		12,541	(122,007)		12,541	(43,841)
	19.2%		7.4%	家庭からの年間排出量推定(2018調査結果)(トン)			660,941			660,941
				紙製容器包装の回収率(推定)			18.5%			6.6%
合計	175,649		26.6%		回収合計		165,848			25.1%

紙製容器包装の回収率調査結果(2021年度実績)

調査対象：人口9万人以上の自治体295市区 アンケート回答数：291件

紙製容器包装リサイクル推進協議会
※第4次自主行動計画数値目標は28%据置き

2020年度 行政収集		2020年度 集団回収		調査項目	2021年度行政収集			2021年度集団回収		
自治 体数	回収量 (トン)	自治 体数	回収量 (トン)		自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)	自治 体数	人口 (万人)	回収量 (トン)
264	87,375	219	31,397	「紙製容器包装」の回収量(A+B) (内訳)	263	8,000	79,286	220	7,000	28,563
36	23,786	10	592	A 単独量を回収した市区	31	1,053	19,461	6	161	450
228	63,589	209	30,805	B 混合回収量を回収した市区	232	6,947	59,825	214	6,839	28,113
(26)	(3,124)	(21)	(2,171)	a 古紙総量を回答(新聞・雑誌・段ボール他含む)	(25)	639	(3,010)	(17)	338	(1,603)
(159)	(37,306)	(154)	(26,186)	b 雑誌・雑がみ総量又は段ボール総量を回答	(162)	4,792	(33,867)	(160)	5,188	(24,603)
(43)	(23,159)	(34)	(2,448)	c “雑がみ”などで回収した量を回答	(45)	1,516	(22,948)	(37)	1,314	(1,907)
(0)				d 回収しているが量の把握はしていない	(0)					
28		73		「紙製容器包装」は回収していない	28	891		71	1,891	
※人口カバー率：71.0%										
292	87,375	292	31,397	調査結果合計	291	8,891	79,286	291	8,891	28,563
	122,007		43,841	全国の人口(総務省人口推計2021)→(回収量拡大推計)		12,519	(111,643)		12,519	(40,220)
				容器包装廃棄物排出見込量(2021年度)(トン)			642,478			642,478
	18.5%		6.6%	紙製容器包装の回収率(推定)			17.4%			6.3%
合計	165,848		25.1%		回収合計		151,863		23.6%	

本活動に関わった委員

<総務委員会>

*期間:本報告書活動期間(2012年~2022年)内での在籍期間

	会社・団体名	期間	所属部署	委員
委員長	[(社)日本印刷産業連合会] 凸版印刷(株)	2012~2018	生活・産業事業本部	横尾 植松
委員長	森永乳業(株)	2019	コミュニケーション本部	遠藤
委員長	[(社)日本印刷産業連合会] 凸版印刷(株)	2020~2022	生活・産業事業本部	川田
副委員長	(株)バンダイ	2012~2016	プロダクト保証部	金子
副委員長	森永乳業(株)	2017~2018	コミュニケーション本部	遠藤
副委員長	[(社)日本印刷産業連合会] 凸版印刷(株)	2019	生活・産業事業本部	川田
副委員長	江崎グリコ(株)	2020~2022	グループ渉外部	山本
委員	(財)家電製品協会	2012~2013	環境部	荒木
	(株)バンダイ	2012~2022	プロダクトマネジメント部	金子 瀧口 岡田 藤田
	花王(株)	2012~2022	危機管理・RC推進部	門野 堂園 島津
	日本角底製袋工業組合	2012~2018	専務理事	永井 長尾
	日本製紙(株)	2012~2022	営業企画本部 リサイクル推進室	辻井 江刺家 吉田 栗原 山川 柏
	山崎製パン(株)	2012~2014	総務本部 総務部	斎木 岡本
	[酒類紙製容器包装リサイクル連絡会] 日本酒造組合中央会	2012~2022	業務第一部	木内 松戸
	(株)明治	2012~2014	CSR推進部	福原
	日本たばこ産業(株)	2012~2022	サステナビリティマネジメント部	臼井 八木 田知花 高木 高井 尾崎
	森永乳業(株)	2012~2022	サステナビリティ本部	遠藤 森
	第一三共(株)	2012~2022	サステナビリティ推進部	小林
	江崎グリコ(株)	2015~2022	グループ渉外部	古川 上野 山本
	アサヒ飲料(株)	2016~2017	コーポレートコミュニケーション部	高橋
	共同印刷(株)	2018~2022	生産統括本部	市川 清水
	(財)食品産業センター	2018~2022	企画・渉外部	渡邊 山崎
	日本容器包装リサイクル協会	2012~2022	紙容器事業部	鈴木 雨宮

<技術委員会>

	会社・団体名	期間	所属部署	委員
委員長	[(社)日本印刷産業連合会] 大日本印刷(株)	2012~2022	Lifeデザイン事業部 IPセンター	國弘
副委員長	味の素(株)	2012	包装プロセス研究G	松嶋
副委員長	(社)全国清涼飲料工業会	2013	環境部	秋田
副委員長	(財)食品産業センター	2014	技術環境部	後藤
副委員長	味の素(株)	2015~2022	マニファクチャリング戦略部	大竹 松本 内田
委員	森永製菓(株)	2012~2022	生産本部 調達部	高溝 小川 関根 梅澤
	味の素(株)	2012~2022	マニファクチャリング戦略部	松嶋 水野 大竹 松本 内田
	(株)明治	2012~2022	サステナビリティ推進部	青木 村尾 清水
	北越パッケージ(株)	2012~2022	液体容器営業本部 液体容器営業部	西山 小林
	武田コンシューマヘルスケア(株)	2012~2019	ヘルスケアカンパニー 事業総括室	別府 黒河 越智
	(社)全国清涼飲料連合会	2012~2022	企画部	秋田 三木 瀧花 石黒 那須 岡本
	(財)食品産業センター	2012~2022	技術環境部	砂田 後藤 渡邊
	(財)古紙再生促進センター	2012~2022	業務部	辻 甲斐
	王子産業資材マネジメント(株)	2012~2022	カンパニー統括本部	飯田 荒井
	日本テトラパック(株)	2012~2022	サステナビリティ部	金井 柳瀬 大森
	ウェストロック(株)	2012~2022	営業部	永塚 武田
	[(社)日本印刷産業連合会] 凸版印刷(株)	2012~2016	生活・産業事業本部	植松
大塚製菓(株)	2012~2022	業務管理部	庭田 北岡 藤川 横林	
日本容器包装リサイクル協会	2012~2022	紙容器事業部	毛塚 雨宮 牟田	
事務局	紙製容器包装リサイクル推進協議会	事務局長	川村(2012~)	
		事務局	藤井(2012~2016) 松崎(2016~2018) 山縣(勝:2018~) 山縣(け:2012~2013) 萬田(2012~)	

*所属部署は2022年度委員の部署名 *複数の委員名記載の欄では、右端が2022年度委員



容リ法改正対策・総務・技術委員会 活動報告書
2012～2022年度

2023年6月発行

紙製容器包装リサイクル推進協議会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門 1-1-21 (新虎ノ門実業会館8階)
【電話】03 - 3501 - 6191
【FAX】03 - 3501 - 0203
(URL) <http://www.kami-suisinkyo.org/>